

令和元年度 北海道文化財年報



「札幌市旧三菱鉱業寮」 (札幌市)



「函館公園こどものくに空中観覧車」

(函館市)



「網走市立郷土博物館本館」 (網走市)



「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」 (札幌市)

令和2年8月

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけでなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。北海道教育委員会では、文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や多様な情報の発信などを通して、文化財の保存・活用に取り組んでいます。

この年報では、「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」、「函館公園こどものくに空中観覧車」など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報を御活用いただき、文化財をより身近に感じていただければ幸いです。

●この文化財年報に関するお問合せ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護係

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】

表紙の写真4点は、令和元年7月23日に重要文化財に指定された「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」と登録有形文化財に令和元年9月10日に登録された「札幌市旧三菱鉱業寮」、令和元年12月5日に登録された「函館公園こどものくに空中観覧車」と「網走市立郷土博物館本館」です。

○「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」

18世紀から19世紀にかけてのカラフトアイヌと清国、日本との関わりを伝えるきわめて希有な文書群です。

○「札幌市旧三菱鉱業寮」

木造二階建て、切り妻造りの洋館で、戦前の民間希望倶楽部の遺例として貴重な存在です。

○「函館公園こどものくに空中観覧車」

日本では珍しい長椅子型のゴンドラを8台吊り下げ、また、国内で現役稼働中の観覧車の中で最古のものです。

○「網走市立郷土博物館本館」

道内最初期の郷土博物館で、木造二階建て、正面に円弧状のアーチを見せる、独創的な意匠の文化施設です。

目 次

I 令和元年度文化財保護の主なあゆみ

1	新たに指定・登録された文化財	P 2
(1)	国指定文化財	P 3
(2)	国登録文化財	P 4
2	世界遺産登録を目指して	P 10
(1)	世界遺産登録に向けた体制と事業について	
(2)	4道県共通ホームページの作成について	P 11
(3)	北海道の独自事業について	
(4)	「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について	P 12
3	日本遺産（Japan Heritage）について	P 13
4	ほっかいどう民俗芸能振興事業について	P 16
5	北海道文化財保護強調月間について	P 17
6	アイヌ民俗文化財の保存・伝承	P 19
(1)	アイヌ民俗文化財調査事業	
(2)	アイヌ民俗文化財伝承・活用事業	
7	指定文化財の保存整備（国庫補助事業）	P 20
(1)	重要文化財	
(2)	重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観	P 23
(3)	史跡・名勝・天然記念物	P 24
8	埋蔵文化財保護のための事前協議	P 27
9	埋蔵文化財の保護（国庫補助事業）	P 29
10	発掘調査	P 31

Ⅱ 資料編

1 文化財

- (1) 文化財の指定状況(国指定・道指定) P 32
- (2) 国指定・選定文化財一覧 P 33
- (3) 道指定文化財一覧 P 39
- (4) 管内別市町村指定等文化財一覧 P 44
- (5) 管内別登録文化財 P 45
- (6) 登録文化財一覧
- (7) 令和元年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧 P 49
- (8) 令和元年度文化財パトロール P 60
- (9) 令和元年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数
- (10) 令和元年度銃砲刀剣類の登録状況

2 埋蔵文化財

- (1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧 P 61
- (2) 令和元年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と
北海道実施の所在・試掘調査一覧 P 62
- (3) 令和元年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧
- (4) 令和元年度管内別発掘調査一覧
- (5) 令和元年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数
- (6) 令和元年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等 P 63
- (7) 令和元年度出土文化財認定件数と出土遺物量
- (8) 令和元年度出土文化財譲与件数

3 その他

- (1) 北海道教育推進計画 P 64
- (2) 令和元年度北海道文化財保護審議会 P 66
- (3) 北海道文化財保護審議委員一覧
- (4) 令和元年度銃砲刀剣類登録審査会 P 67
- (5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員
- (6) 北海道立埋蔵文化財センター
- (7) 令和元年度北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会 P 69
- (8) 北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会有識者一覧
- (9) 文化財情報の発信 P 70
- (10) 文化財関係機関・団体リンク

I 令和元年度文化財保護の主なあゆみ

○ 新指定(国指定・国登録)の文化財

国指定では、札幌市の「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」が重要文化財（歴史資料）に指定されました。

登録文化財では、札幌市の「札幌市旧三菱鉱業寮」、函館市の「函館公園こどものくに空中観覧車」、網走市の「網走市立郷土博物館本館」と「網走市立郷土博物館新館」、士別市の「大野家住宅主屋（旧大野組事務所兼主屋）」、えりも町の「幌泉灯台記念塔」がそれぞれ国の登録有形文化財に登録されました。

○ 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県の13市町に所在する17件の資産で構成され、世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦書が令和2年1月に国からユネスコに提出されました。4道県と13市町は、世界遺産登録のための普及啓発事業や情報発信などを行いました。

○ 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度から毎年10月8日～11月7日を北海道文化財保護強調月間に設定しています。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

令和元年度は期間中に、138の市町村及び関係機関等で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座・シンポジウム等文化財に関するイベント366事業が実施され、多くの方が参加しました。

○ アイヌ民俗文化財の保存・伝承

^{かんなり}金成マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会などを実施しました。

○ 文化財の保存整備

北海道や市町村が主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を44件実施しました。

○ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う141件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は54件が実施されました。

1 新たに指定・登録された文化財

国指定重要文化財 1 件（歴史資料 1 件）、国登録の登録有形文化財（建造物）が 6 件ありました。

（１）国指定文化財

● 重要文化財（歴史資料）

[令和元年 7 月 23 日付け]

「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」（札幌市）

（２）国登録文化財

● 登録有形文化財（建造物）

[令和元年 9 月 10 日付け]

「札幌市旧三菱鉱業寮」（札幌市）

[令和元年 12 月 5 日付け]

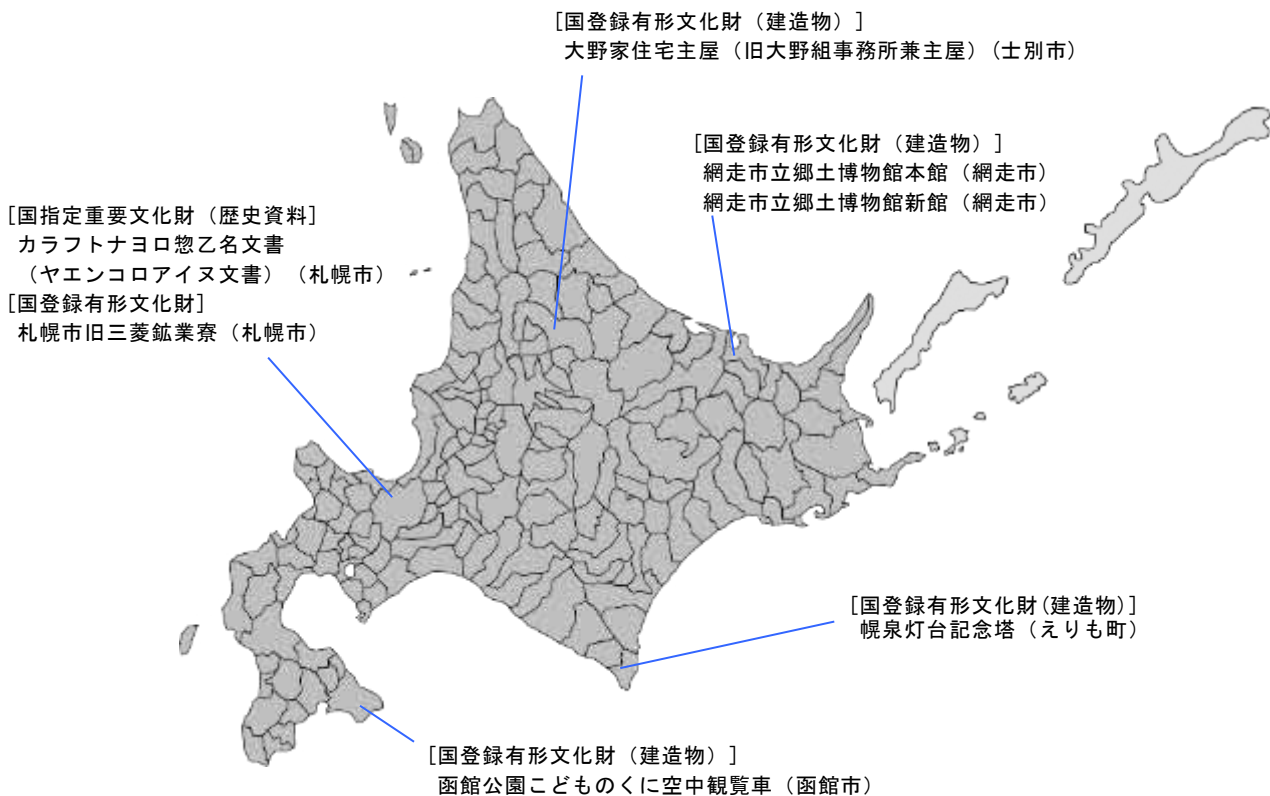
「函館公園こどものくに空中観覧車」（函館市）

「網走市立郷土博物館本館」（網走市）

「網走市立郷土博物館新館」（網走市）

「大野家住宅主屋（旧大野組事務所兼主屋）」（士別市）

「幌泉灯台記念塔」（えりも町）



(1) 国指定文化財

① 重要文化財（美術工芸品＜歴史資料＞）

「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」（からふとなよろそうおとなもんじょ）

【指定日】令和元年7月23日

【所有者】国立大学法人北海道大学

【員数】13通 2巻

【年代】清時代、江戸時代～明治時代

【解説】カラフト西岸ナヨロの惣乙名（複数村落の統括者）をつとめたアイヌの氏族長の家に保管、伝来した文書群で、清国関係文書4通と日本側作成文書9通の計13通で構成されています。

前者は18世紀後半から19世紀前半にかけての満文2通（1通は官印が押捺された檔案（公文書））と漢文2通で、同国への進貢に関する内容を持ちます。日本側作成文書は、江戸時代後期（18世紀末から19世紀中葉）のもので、最上徳内ら北蝦夷地探査に携わった人物による前記満文文書ほかを披見した旨の書付、ならびに箱館奉行所、箱館府発給の惣乙名職等の任免状の2種に大別されます。

18世紀から19世紀にかけてのカラフトアイヌと清国、日本との関わりを伝える極めて稀有な文書群であり、当該期のいわゆる北方世界の歴史研究上に学術的価値が高いものです。

[写真] 満文文書（提供：国立大学法人北海道大学）



(2) 国登録文化財

① 有形文化財（建造物）

「札幌市旧三菱鉱業寮」（さっぽろしきゅうみつびしこうぎょうりょう）

【登録日】令和元年9月10日

【年代】昭和12年頃建設／昭和60年・平成29年改修

【所在地】札幌市中央区北2条東6丁目2他

【解説】永山記念公園にある鉱山会社の旧福利厚生施設。

木造二階建て、切妻造りの洋館で、内部は上下階とも中廊下を通し、和室の宿泊室等を配する。戦前の民間企業倶楽部の遺例として貴重な存在。



（札幌市提供）

【問合せ先】札幌市市民文化局文化部文化財課 電話：011-211-2312

「函館公園こどものくに空中観覧車」(はこだてこうえんこどものくにくうちゅうかんらんしゃ)

【登録日】令和元年12月5日

【年代】昭和25年建設／昭和40年移設

【所在地】函館市青柳町17番地

【解説】登録記念物である函館公園内の遊園地「こどものくに」にある観覧車。

昭和25年に現在は国定公園になっている大沼公園に設置し、昭和40年に現在地に移設した。

2本の支柱間に、山形鋼で構成した直径8メートルの八角形ホイールを取り付け、日本では珍しい2人乗りの長椅子型ゴンドラを8台吊り下げる。

国内で現役稼働中の観覧車の中でも最古のものであり、函館公園の象徴的存在として親しまれている。



(函館市教育委員会提供)

【問合せ先】函館市教育委員会生涯学習部文化財課 電話：0138-21-3456

「網走市立郷土博物館本館」(あばしりしりつきょうどはくぶつかんほんかん)

【登録日】令和元年12月5日

【年 代】昭和11年建設／昭和60年改修

【所在地】網走市桂町1丁目1番地

【解 説】フランク・ロイド・ライトの弟子で、建築家田上義也の設計。昭和11年建築の道内最初期の郷土博物館。

塔屋付木造二階建、左右対称平面の中央を南北に張出し、正面に円弧状のアーチをみせ、外壁は鉄鋼コンクリート塗、胴部は左官仕上で幾何学模様のパネルを貼る、独創的な意匠の文化施設。



(網走市教育委員会提供)

【問合せ先】網走市教育委員会社会教育部博物館課 電話：0152-43-3090

「網走市立郷土博物館新館」（あばしりしりつきょうどはくぶつかんしんかん）

【登録日】令和元年 12 月 5 日

【年 代】昭和 36 年建設

【所在地】網走市桂町 1 丁目 1 番地

【解 説】本館同様、フランク・ロイド・ライトの弟子で、建築家田上義也の設計。

昭和 11 年に開館した郷土博物館の新館として本館東側に増築した。

木造二階建、地階付とし、矩形平面で屋根は片流れとする。立面は本館との連続性を考慮しつつ、壁面の切り込みなどの彫塑的表現に、田上の戦後の作風を見せる。



（網走市教育委員会提供）

【問合せ先】網走市教育委員会社会教育部博物館課 電話：0152-43-3090

「大野家住宅主屋（旧大野組事務所兼主屋）」

（おおのけじゅうたくしゅおく（きゅうおおのぐみむしょけんしゅおく）

【登録日】令和元年 12 月 5 日

【年 代】昭和 2 年建設／昭和 13 年頃増築

【所在地】士別市大通西 1 丁目 1918 番地 4、1918 番地 5、1918 番地 6

【解 説】かつて士別屯田兵村と呼ばれた地区に建設した、代々建設業を営む旧家の住宅。主屋は昭和 2 年建築で、敷地西側中央に西面して建つ、木造平屋建で、正面中央に入母屋造の玄関を付す。内部は前後二列に三室ずつ並べ、北側に床を備えた座敷などを、南側に応接室などの洋室を配す。

和風民家への洋室導入の有り様を伝える上質な建物。



（士別市教育委員会提供）

【問合せ先】士別市教育委員会生涯学習部社会教育課 電話：0165-26-7308

「幌泉灯台記念塔」(ほろいずみとうだいきねんとう)

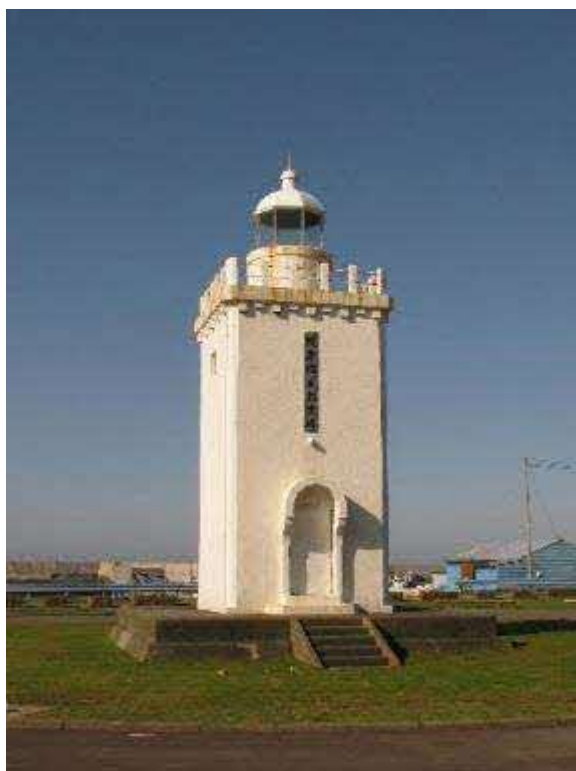
【登録日】令和元年 12 月 5 日

【年 代】昭和 3 年建設／昭和 53 年移設

【所在地】えりも町字本町 53－1 番地

【解 説】昭和 3 年にえりも港に面する灯台山山頂に建築した灯台。四角柱の外観で、入口には持送付半円アーチを付す。壁の隅部に唐戸面を施し、頂部にコーニスを廻らしてデンティルを飾り、屋上の塔火部に鉄枠の窓を穿つ。

我が国の鉄筋コンクリート造灯台の初期の形式をよく残す。



(えりも町教育委員会提供)

【問合せ先】えりも町教育委員会社会教育課文化財係（郷土資料館）

電話：01466-2-2410

2 世界遺産登録を目指して

北海道と青森・岩手・秋田の北東北3県の13市町に所在する17件の資産で構成された「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、令和元年7月の文化審議会で、同年度の世界文化遺産推薦候補物件として選定されました。令和2年1月には縄文遺跡群の内容を説明し、審査を受けるための「推薦書」を国がユネスコに提出し、受理されたところです。

今後は、令和2年秋頃のイコモス(ユネスコの諮問機関)による現地調査等を経て、令和3年の春頃にイコモスから勧告があり、それを踏まえてユネスコ世界遺産委員会で登録の是非が判断される予定です。

(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について

平成14年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づいて、北海道は、縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の3県とともに平成16年度から進めてきました。

縄文遺跡群が平成21年1月にユネスコ世界遺産センターの管理する世界遺産暫定一覧表(世界遺産候補となる各国資産のリスト)に記載されたのは、この取り組みが基盤になっています。

平成21年の6月には4道県及び資産を所管する12市町(道内2市2町)は首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業に継続して取り組んでいます。平成24年度には構成資産の追加に伴い、さらに2市(道内1市)が推進事業に加わりました。

登録推進本部では、日本政府がユネスコに提出する推薦書のもとになる「世界遺産登録推薦書原案」を平成25年7月に文化庁へ提出し、その後も文化審議会から示された諸課題について国内外の専門家の助言を得ながら、「推薦書素案」を作成し、文化庁に提出してきました。推薦後、世界遺産登録実現までは、登録推進本部と「縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会」が併置されています。

推進本部のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、登録推進事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。推薦後、推進会議には「縄文遺跡群世界遺産保存活用連絡会議」、専門家委員会には「縄文遺跡群世界遺産保存活用専門家委員会」が併置されています。令和元年度には推進会議と保存活用連絡会議を各1回、専門家委員会を1回開催しました。

推進本部は令和元年12月に「包括的保存管理計画」を策定し、資産全体を一体的に保存・管理し、整備・活用するための方針や方法を示しています。

世界遺産への登録を実現するためには、それを妥当とするだけの国際的な評価や日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得ることも必要です。登録推進本部では、国際会議の開催、広報資料の作成や展示会の開催等、各種の普及啓発事業を通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信しています。

令和元年9月には札幌市(北海道)、令和2年1月には東京で「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を開催しました。札幌のフォーラムでは、文化庁文化財調査官の鈴木地平氏による、資産の魅力とその活用に関する講演を基調に、資産を所管する市町の担当者によるパネルディスカッションを行い、103名の参加者がありました。

○世界遺産登録推進フォーラム札幌会場



基調講演の様子

(2) 4道県共通ホームページの作成について

世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普及啓発を目的として、4道県では平成25年8月に、共通ホームページを開設しました。

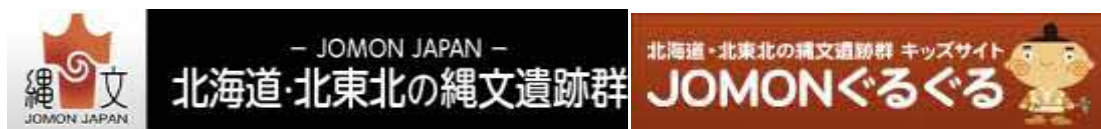
また、平成26年3月には、子どもたちに縄文遺跡群の魅力を紹介する北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」を開設しています。

◆「JOMON JAPAN 北海道・北東北の縄文遺跡群」

ホームページ：<https://jomon-japan.jp/>

◆北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」

ホームページ：<https://jomon-japan.jp/kids/>



(3) 北海道の独自事業について

平成23年度には、世界遺産の登録を推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、北海道教育委員会と連携して、道内における気運の醸成を図るために道独自の事業を行っています。

令和元年7月には「縄文夏まつり」を札幌駅前通地下歩行空間で、9月には「赤れんが北の縄文世界展」を北海道庁赤レンガ庁舎で開催しました。

これらの登録推進事業については縄文世界遺産推進室のウェブサイト内で紹介しておりますので、御参照ください。

○縄文夏まつり会場



○赤れんが北の縄文世界展会場



◆「縄文夏まつり」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2019natsumatsuri.htm>

◆「赤れんが北の縄文世界展」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2019akarenga.htm>

(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成19年9月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての証明が不十分であることから記載は見送られました。

平成27年度からは、大規模竪穴住居跡群の価値の証明に向けて、道内の関係遺跡の全体像を把握するための総合調査を開始し、令和元年度は釧路・根室管内の太平洋側の竪穴群を中心に調査を実施しました。竪穴群に関する関係情報は次のページで公開しております。

◆「竪穴群ポータル」

ホームページ：<http://www.dokyo-i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/portal.htm>

3 日本遺産(Japan Heritage)について

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを国が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

道内の日本遺産 (Japan Heritage) 認定概要

[平成 29 年度認定]

① 江差町

《江差の五月は江戸にもない ―ニシン繁栄が息づく町―》

(ストーリーの概要)

江差の海岸線に沿った段丘の下側を通っている町並みの表通りに、切妻屋根の建物が建ち並び、暖簾・看板・壁にはその家ごとの屋号が掲げられている。緩やかに海側へ下っている地形にあわせて蔵が階段状に連なり、海と共に生きてきた地域であることがうかがえる。

この町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の交易によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。

ニシンによる繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連綿と息づいている。



「ニシンによる繁栄が息づく江差の町並み」

② 酒田市・鶴岡市（山形県）、函館市・松前町・小樽市・石狩市（北海道）、鰺ヶ沢町・深浦町・野辺地町（青森県）、秋田市・にほか市・男鹿市・能代市・由利本荘市（秋田県）、新潟市・長岡市・佐渡市・上越市・出雲崎町（新潟県）、加賀市・輪島市・小松市・金沢市（石川県）、敦賀市・南越前町・坂井市・小浜市（福井県）、富山市・高岡市（富山県）、宮津市（京都府）、大阪市（大阪府）、神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市・姫路市・たつの市（兵庫県）、鳥取市（鳥取県）、浜田市（島根県）、倉敷市（岡山県）、尾道市・呉市・竹原市（広島県）、多度津町（香川県）

（※小樽市・石狩市（北海道）、野辺地町（青森県）、にほか市・男鹿市・能代市・由利本荘市（秋田県）、佐渡市・上越市（新潟県）、輪島市・小松市（石川県）、坂井市・小浜市（福井県）、宮津市（京都府）、大阪市（大阪府）、神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市（兵庫県）、鳥取市（鳥取県）、浜田市（島根県）、倉敷市（岡山県）、尾道市・呉市（広島県）は、平成30年度追加）

（※鶴岡市（山形県）、出雲崎町（新潟県）、金沢市（石川県）、姫路市、たつの市（兵庫県）、竹原市（広島県）、多度津町（香川県）は、令和元年度追加）
《荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～》

（ストーリーの概要）

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。

また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



「函館山」



「松前屏風」

[平成 30 年度認定]

上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町

《カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～》

(ストーリーの概要)

美しく厳しい大雪山のふところに、カムイ～神～を見出し共に生きた“上川アイヌ”。

彼らは激流進む奇岩の溪谷に魔神と英雄神の戦いの伝説を残し、神々への祈りの場として崇めた上川アイヌの聖地には、クマ笹で葺かれた家などによりコタンを形成し祈りを捧げ続ける。

上川アイヌは「川は山へ遡る生き物」と考え、最上流の大雪山を最も神々の国に近く、自然の恵みをもたらす、カムイミンタラ～神々の遊ぶ庭～として崇拝してきた。

神々と共に生き、伝承してきた上川アイヌの文化は、この大地に今も息づいている。



「大雪山の雄大な自然」

[令和元年度認定]

赤平市、小樽市、室蘭市、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、三笠市、栗山町、月形町、沼田町、安平町

《本邦国策を北海道に見よ！～北の産業革命「炭鉄港」～》

(ストーリーの概要)

明治の初めに命名された広大無辺の大地「北海道」。その美しくも厳しい自然の中で、「石炭」・「鉄鋼」・「港湾」とそれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北の産業革命「炭鉄港」は、北海道の発展に大きく貢献してきました。

当時の繁栄の足跡は、空知の炭鉱遺産、室蘭の工場景観、小樽の港湾そして各地の鉄道施設など、見る者を圧倒する本物の産業景観として今でも数多く残っています。

100 km圏内に位置するこの3地域を原動力として、北海道の人口は約100年で100倍になりました。その急成長と衰退、そして新たなチャレンジを描くダイナミックな物語は、これまでにない北海道の新しい魅力として、訪れる人に深い感慨と新たな価値観をもたらします。



4 ほっかいどう民俗芸能振興事業について

道内各地で民俗芸能に取り組んでいる子どもたちに発表の機会を提供することにより、地域の文化への興味関心や郷土愛を育むとともに、次代を担う後継者の育成や民俗芸能の普及振興を図ることを目的に、平成27～29年度の3年間、全道4つのブロックで、民俗芸能の伝承講座を受講した子どもたちが、習得した民俗芸能を発表する成果発表会を開催し、平成30年度は、その集大成として、北海道150年記念式典に併せて全道大会を開催しました。

令和元年度は、民俗芸能の保存団体や市町村に対し、他団体との交流の機会や他県の先進的な取組に触れる機会を提供することで、伝承活動の取組を充実し、継続的な振興・伝承を図ることを目的に、民俗芸能伝承フォーラムを開催しました。

(1) 平成27～29年度実施事業「成果発表会」

年 度	ブロック	会 場	出 演 団 体
H27	道南	森町	江良八幡神社杵振舞（松前町）、江差追分踊り（江差町）、 勇払千人隊御会所太鼓（苫小牧市）、襟裳神楽（えりも町）
H28	道央	札幌市	峰延獅子舞（美唄市）、恵庭岳太鼓（恵庭市）、 松前神楽（小樽市）

H29	道北	東川町	越中踊り（東川町）、岩戸神楽（留萌市）、 南浜獅子神楽（利尻富士町）、豊郷神楽（網走市）
	道東	帯広市	大正宮神楽（帯広市）、白蛇姫舞（鹿追町）、 釧路鳥取傘踊り（釧路市）、寿子ども蝦夷和太鼓（釧路市）、 厚床獅子舞（根室市）

（２）平成 30 年度「ほっかいどう子ども民俗芸能全道大会」

□期 日：平成 30 年 8 月 5 日（日）

□会 場：北海きたえーる

□演 目：大正宮神楽（帯広市）、恵庭岳太鼓（恵庭市）、南浜獅子神楽（利尻富士町）、江差追分踊り（江差町）、松前神楽（小樽市）

（３）令和元年度実施事業「民俗芸能伝承フォーラム」

年 度	管 内	会 場	講師・出演団体
R1	渡島	函館市	懸田弘訓氏(NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会理事長) 原釜神楽保存会（福島県相馬市） 松前神楽函館連合保存会（函館市）
	後志	小樽市	懸田弘訓氏(NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会理事長) 原釜神楽保存会（福島県相馬市） 松前神楽小樽ブロック保存会（小樽市）

5 北海道文化財保護強調月間について

平成 20 年度に、北海道教育委員会、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会及び北海道博物館協会の 6 者は共同で、毎年 10 月 8 日～11 月 7 日の期間を、「北海道文化財保護強調月間」として設定しました。

期間中には、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施しています。

令和元年度は、第 12 回目として、138 の市町村等で展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベント 366 事業が実施されました。

なお、第 12 回北海道文化財保護強調月間ポスターには、一般財団法人北海道文化財保護協会が黒松内町で開催しました「化石発掘体験ツアー」の写真を掲載し、文化財への興味・関心の醸成、保存・活用の啓発に努めました。

今後も、市町村教育委員会等の協力を得ながら、様々な形で、児童・生徒の皆さん、そして、広く道民の方々が文化財を身近に感じ、親しんでいただく機会の提供に取り組めます。

・文化財保護強調月間ホームページ

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち6団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成 20 年 7 月 17 日

北海道文化財保護強調月間ポスター



小平町「おびらふるさと塾」



士別市「士別市立博物館」

「士別で活躍していた馬車鉄道の復元」

6 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査事業

アイヌ民俗文化財に係る調査等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に係る道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配付し、活用を図りました。

[金成マツノート整理・翻訳、刊行]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・^{かんなり}金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

・ユーカラシリーズ 64

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「魂の泣く声が聞こえる〔女のユカラ〕」』

萱野志朗 訳

・ユーカラシリーズ 65

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「英雄叙事詩 白い巻貝（1）」』

切替英雄、高橋靖以 訳

・ユーカラシリーズ 66

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「メナシサムの厚司メナシサムの帽子（1）」』

蓮池悦子 訳

[令和元年度アイヌ民俗文化財調査報告書]

アイヌの人たちが祖先から伝承してきた生活や生産・生業に関する民俗技術について、テーマを設定して調査を実施し、報告書を刊行しました。

・育児に関する民俗技術 2 藤村久和、花輪陽平 著

(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、伝統的な民俗技術及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

また、専門職員等を対象に研修会を開催しました。

① アイヌ民俗技術伝承講座：道内5会場

(延べ60講座、延べ参加人員521人)

② アイヌ民俗芸能伝承講座：道内5会場

(延べ40講座、延べ参加人員401人)

③ アイヌ文化財専門職員等研修会

(会場：札幌、参加人員：65人)



アイヌ古式舞踊練習風景

7 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保存整備等を図るため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

● 建造物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (建造物)	遺愛学院（旧遺愛女学校）本館	遺愛学院（旧遺愛女学校）本館は、北海道における木造学校建築の代表作の一つとして高い価値があり、明治後期学校建築の指標となる遺構としても重要です。 令和元年度は、半解体修理と設備工事等を行いました。	学校法人 遺愛学院
重要文化財 (建造物)	旧函館区公会堂	旧函館区公会堂は明治 39 年(1906)に集会所等として工事費の大半を豪商相馬哲平の寄付により建てられました。2 階のバルコニーからの絶景と和と洋が融合した優れた意匠で観光客に人気の高い建造物です。 令和元年度は、構造補強及び部分修理を行いました。	函 館 市
重要文化財 (建造物)	大 谷 派 本 願 寺 函 館 別 院 本 堂	真宗大谷派函館別院は明治 40 年(1907)の函館大火で堂宇を焼失した後に、鉄筋コンクリート造で再建された寺院建築です。 鉄筋コンクリート造建築の初期の遺構で、伝統様式を再現した最初の寺院建築として、高い歴史的価値があります。 令和元年度は、建物の構造体調査、地盤調査などの調査工事を実施しました。	真宗大谷派 函館別院
重要文化財 (建造物)	旧 網 走 監 獄 旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所 (二見ヶ岡農場)	旧網走監獄は明治23年(1890)に網走囚徒外役所として設置され、明治期の木造監獄建築の数少ない遺例として重要なものです。 二見ヶ岡刑務支所は明治29年(1896)に開設され、全国でも珍しい農園を持つ刑務所の建築群で、歴史的に高い価値があります。 令和元年度は、耐震診断事業の最終年であり、構造診断（構造実験）及び構造補強案の作成を行いました。	公益財団法人網走監獄 保存財団

建造物	余市町近代和風建築等総合調査	昭和9年(1934)年創設のニッカウキスキー(株)北海道工場の敷地内に存する、同工場創設当時の事務所棟等の昭和10年代以降の趣を残す建物群について、構造、修理履歴等の概況調査を行いました。	余市町
-----	----------------	--	-----



重要文化財「遺愛学院（旧遺愛女学校）本館」
（函館市）



重要文化財「旧函館区公会堂」（函館市）



重要文化財「大谷派本願寺函館別院本堂」
（函館市）



重要文化財「旧網走監獄」（網走市）



「ニッカウキスキー北海道工場（麦芽倉庫・プレコン室）」
（余市町）

● 美術工芸品

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (考古資料)	北海道上之国 勝山館跡出土品	北海道上之国勝山館跡出土品は、15～16 世紀（室町時代～安土・桃山時代）の城館跡から出土した、木製品、漆器、金属製品、骨角製品、繊維製品などからなる貴重な考古資料です。 令和元年は破損物の保存修理事業及び公開・保存を目的とした、保存台及び保存箱の製作を行いました。	上ノ国町
重要文化財 (考古資料)	北海道船泊遺跡 出 土 品	縄文時代後期中葉の集落跡と集団墓地、及び作業場跡等から出土した副葬品で、とりわけ貝製品には、房総半島以南に生息するタカラ貝など、遠隔地から搬入された貝類を素材とした装身具が含まれ、当時の広域な物資交易をよく示す、貴重な資料となっています。 令和元年度は、破損物の保存修理事業を行いました。	礼 文 町
重要文化財 (歴史資料)	開 拓 使 文 書	開拓使文書は、開拓使札幌本庁、その前身の箱館府等において、作成、収受、編綴された近代行政文書であり、明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上での貴重な資料です。 平成 27 年度から令和 5 年度の 9 年間の計画で、破損した原本の保存修理事業を行っています。	北 海 道



重要文化財「北海道上之国勝山館跡出土品」（上ノ国町）



重要文化財「北海道船泊遺跡出土品」
(礼文町)



同左のうち貝平玉



重要文化財「開拓使文書」(北海道)

(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要伝統的 建造物群保 存地区	函館市元町末広 町重要伝統的建 造物群保存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。 令和元年度は、市水商会及び生田ステンドグラスの修理事業を実施しました。	函館市

重要文化的 景観	アイヌの伝統と 近代開拓による 沙流川流域の文 化的景観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 令和元年度は、追加選定に向けた調査や保存計画に基づく集計工事等を実施しました。	平 取 町
-------------	---------------------------------------	---	-------

○函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区（函館市）



市水商会



生田ステンドグラス

○沙流川流域の文化的景観（平取町）



チッサンケ（舟下ろしの儀式）

（３）史跡・名勝・天然記念物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
特 別 史 跡	五 稜 郭 跡	五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が融合した特色ある城郭です。 令和元年度は、崩落した石垣の修理と石垣定点調査等を行いました。	函 館 市

史 跡	松 前 氏 城 跡 福 山 城 跡 館 城 跡 の うち 福 山 城 跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。 令和元年度は、平成28年の台風10号により破損した二の丸地区土堀の修理を実施しました。	松 前 町
史 跡	入 江 ・ 高 砂 貝 塚	入江・高砂貝塚は噴火湾を望む台地上に隣接して位置し、当時の生業、縄文人の形質や葬法などを知る上で重要な貝塚です。 令和元年度は、園路を整備し、竪穴住居等の表示を整備しました。	洞 爺 湖 町
史 跡	常 呂 遺 跡	常呂遺跡は、常呂川河口付近からサロマ湖東岸に及ぶ広大な遺跡で、地表に窪みとして残る竪穴住居跡は2,700ヶ所を超え、独特の景観を作り出しています。 令和元年度は、竪穴住居1軒の復元を完了し、史跡整備委員会を開催しました。	北 見 市
史 跡	カ リ ン バ 遺 跡	カリンバ遺跡は、縄文時代の大規模な墓地で、漆製品等の豊富な副葬品が出土しています。 令和元年度は、水文環境調査の実施、史跡の範囲を明確にする境界標の設置、史跡の景観維持・保全のための排水溝改修工事を行いました。	恵 庭 市
史 跡	垣 ノ 島 遺 跡	垣ノ島遺跡は、縄文時代に作られた南北200m 東西130m の「コ」の字形の盛り土が特徴的な遺跡です。 令和元年度は、「コ」の字形の盛り土の整備や園路等の整備工事を行い、発掘調査や保存整備検討委員会を実施しました。	函 館 市
史 跡	上 之 国 館 跡 の うち 勝 山 館 跡、 花 沢 館	上之国館跡は、15世紀に和人の拠点として設けられた、北海道では数少ない中世城館の変遷がうかがえる史跡です。 令和元年度は、整備基本計画の策定作業を行い、整備検討委員会を開催しました。	上ノ国町

史 跡	白老仙台藩陣屋跡	白老仙台藩陣屋跡は、白老から知床岬まで警備を命ぜられた仙台藩が設置した拠点の跡で、幕末北辺防備の遺跡として重要です。 令和元年度は、保存活用計画を策定するための委員会を開催しました。	
特 別 天 然 記 念 物	阿寒湖のマリモ	世界でここにしか残されていない大規模な球状マリモの群集ですが、水草が増え、生息環境の悪化が心配されています。 令和元年度は、マリモの生育に悪影響を及ぼすといわれている水草の除去、その効果の検証、今後の水草管理の方法について調査しました。	釧 路 市
特 別 天 然 記 念 物	アポイ岳高山植物群落	アポイ岳は、日高山脈の南端付近の西海岸寄りに位置し、かんらん岩という特殊な土壌条件や、海霧や強風の影響等により、数多くの高山植物が生育しています。 令和元年度は、高山植物植生の回復を目指し、複数の観点から調査等を実施しました。	様 似 町



○アポイ岳における登山道沿いのハイマツ伐採実験

8 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議を行ない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できる限りその取り扱いに関する調整を行なっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような工事から埋蔵文化財を保護するため、16,596.665ha について所在調査を、118.623ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

① 工事計画



② 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます



※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合



③ 埋蔵文化財保護のための事前協議書提出（工事等の計画者→市町村→道教委へ）



④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）

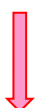


遺跡がありそうな地形かどうか判断します。

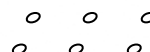
（川や海のそばの高台は特に要注意！）

土器・石器などが落ちていないか

実際に現地を歩いてみて調査します。



→ 遺跡が所在しない場合は着工可



⑤ 試掘調査（市町村・北海道教育委員会実施）



→
重機・スコップなどで地面を掘ってみます。掘った土の中に土器・石器等があるか調べます。



↓
昔の家（竪穴住居）やお墓の跡があるか調べます。（出土した土器 約 2000 年前のもの）
（中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡）

↓ → 遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。
（北海道教育委員会など）

- （１）現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- （２）発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- （３）工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- （４）慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。

↓
⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

9 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、保護するためや史跡の内容確認、普及公開事業を行うために、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査などを行いました。厚真町では平成 30 年の胆振東部地震で被災した文化財の再整理も実施されました。

種 別	事業名称	事 業 内 容	事 業 者
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	開発行為が予想される 4 件の所在調査と 16 件の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	札 幌 市
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	苫東開発区域内の静川地区で試掘調査を行い、縄文時代の遺跡 3 か所を新たに発見しました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	高砂遺跡の個人住宅に伴う発掘調査で、縄文時代中期の住居跡・住居様遺構 6 軒や縄文時代の土壌（どこう）65 基等を検出しました。	江 別 市
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	住宅建築や太陽光発電設備設置等の開発行為 8 事業に先だって試掘調査 8 件を実施し、1 か所で縄文時代の土坑や焼土、3 か所で縄文土器、1 か所で続縄文土器が発見されました。過去に市内遺跡で出土した金属製品が劣化したことから、再保存処理を実施しました。	恵 庭 市
埋蔵文化財	町 内 遺 跡	町内で計画されている農業関連の開発行為 4 事業に先立って所在調査 52 件と試掘調査 6 件を実施し、縄文時代の遺跡 1 か所を新たに発見しました。	美 幌 町
埋蔵文化財	町 内 遺 跡	史跡上之国館跡のうち洲崎館跡と花沢館跡で遺構の確認を目的とした発掘調査を実施し、前者では空堀と思われる遺構が検出されました。後者では平坦地の造成や空堀・土塁・焼土層等が確認され、茶道具やアイヌに関わる骨鏃等の骨角器が出土しました。上ノ国漁港遺跡では水中遺跡調査の専門家を招聘して、調査方法の検討を行いました。	上ノ国町
埋蔵文化財	町 内 遺 跡	鳥崎遺跡や鷺ノ木 2 台場跡で推定範囲周辺の踏査や試掘調査等を行いました。森栈橋跡では遺構調査を行い、新たに木杭や板材等を確認しました。	森 町
埋蔵文化財	町 内 遺 跡	冬島遺跡で遺構の構築状況や範囲等を確認するための発掘調査を行い、縄文時代晩期から続縄文文化期初頭の獣骨集中・礫集中各 1 か所、土坑 5 基等を検出しました。	様 似 町
埋蔵文化財	地域の特色 ある埋蔵文化財活用	千歳市埋蔵文化財センターで火起こしや土面・勾玉・縄文クッキー等の製作体験、史跡キウス周堤墓群の周辺調査の成果を紹介する企画展を実施し、AR・QR コード等を表示した展	千 歳 市

		示遺物の解説カードを作成しました。北海道内で整備の実績のある史跡を紹介する公開講座を実施しました。	
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	動物考古学セミナー、縄文文化にちなんだイベントや体験学習を実施し、パンフレット等の広報資料を作成しました。市内の重要遺跡・出土品の多言語解説を携帯電話端末等で見ることのできるシステムを導入しました。	伊 達 市
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり等の体験学習会や施設見学会等を開催しました。町内の学校やイベント会場での黒曜石アクセサリづくり等の出前体験教室や湧別川での黒曜石探索ツアーを実施しました。	遠 軽 町
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	町内から出土した埋蔵文化財の適切な保管と今後の活用を目的として、老朽化し、地震の被害を受けた保管施設から遺物を搬出し、再接合・再収納及び台帳類の再整理等を行いました。	厚 真 町



江別市高砂遺跡

縄文時代中期の土器が埋められた土壌（どこう）



森町森棧橋跡
調査地近景

10 発掘調査

令和元年度は北海道内で 54 件、31,274.2 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調 査 主 体	件数	調査面積
市町村教育委員会	31	25,354.5 m ²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	4	4,272.0 m ²
大学・博物館等	19	1,647.7 m ²

また、令和元年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の状況や出土遺物などについては、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、御覧ください。

URLは次のとおりです。

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/Rlgaiyou.htm>



余市町 八幡山遺跡 縄文中期の竪穴建物跡

Ⅱ 資料編

1 文化財

(1) 文化財の指定状況(国指定・道指定)

(令和2年3月 31 日現在)

区分	種 別	地域を定めず	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	国保有	計
国指定	国宝							1										1
	重要文化財			16	3	3	1	15	5	1	2	2	3	3	2	1	5	62
	重要無形文化財																	0
	重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	重要無形民俗文化財					1		1										2
	特別史跡							1										1
	史跡		1	8	7	6	3	10	2		1		5	2	5	4		54
	名勝							1		1			1					3
	特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
	天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2			1	1	5	3		41
	小計	15	3	28	12	12	8	32	9	5	6	2	10	6	13	8	5	174
選定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
	重要文化的景観						1											1
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
登録	有形文化財(建造物)		25	28	14	6	4	22	1	17		3	11	10	1	8		150
	記念物							1										1
	小計	0	25	28	14	6	4	23	1	17	0	3	11	10	1	8	0	151
道指定	有形文化財		4	8	5	5	2	33	9	1	4	3	4	4	2	3		87
	有形民俗文化財			2				1	3									6
	無形民俗文化財							1	6									7
	史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	名勝									1			1					2
	天然記念物		6			2	1	2	1	1		5	5	7	1	4		35
	小計	0	11	10	8	9	5	41	20	4	4	10	15	15	4	7	0	163
合 計		15	39	66	34	27	18	97	30	26	10	15	36	31	18	23	5	490

※ 複数管内に所在が跨(また)がる物件については、主たる所在地がある管内にカウントしている。

(2) 国指定・選定文化財一覧

国指定・選定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、保護の対象として文部科学大臣が指定又は選定した文化財です。

〔国宝〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地 (出土地)	備考
1	H19. 6. 8	土偶 北海道函館市著保内野遺跡出土	函館市 (函館市)	

〔重要文化財〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地 (出土地)	備考
1	S8. 1. 23	太刀 銘国俊	札幌市	
2	S11. 9. 18	八窓庵（旧舎那院忘筌）	札幌市	
3	S16. 5. 8	福山城（松前城）本丸御門	松前町	
4	S25. 8. 29	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	帯広市	
5	S31. 6. 28	刀 無銘伝来国行	札幌市	
6	S37. 6. 21	土偶	東京都 (室蘭市)	
7	S39. 5. 26	豊平館	札幌市	
8	S42. 6. 15	木造大日如来坐像（本堂安置）	函館市	
9	S44. 3. 12	北海道庁旧本庁舎	札幌市	
10	S44. 3. 12	旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市	
11	S44. 8. 19	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	札幌市	
12	S45. 6. 17	旧札幌農学校演武場（時計台）	札幌市	
13	S46. 12. 28	旧三戸部家住宅（北海道有珠郡伊達町）	伊達市	
14	S46. 12. 28	旧花田家番屋（北海道留萌郡小平町）	小平町	
15	S46. 12. 28	旧下ヨイチ運上家	余市町	
16	S46. 12. 28	旧中村家住宅（北海道檜山郡江差町）	江差町	
17	S46. 12. 28	太刀川家住宅店舗（北海道函館市弁天町）	函館市	
18	S48. 6. 6	人形装飾付異形注口土器 北海道上磯郡上磯町茂辺地出土	東京都 (北斗市)	
19	S49. 5. 21	旧函館区公会堂 本館	函館市	
	S55. 12. 18	附属棟		
20	S54. 6. 6	動物形土製品 北海道千歳市美々第四遺跡出土	千歳市 (千歳市)	
21	S58. 6. 2	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館市	

22	S63. 6. 6	土面 北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土 墳墓出土	江別市 (千歳市)	
23	H1. 5. 19	旧旭川偕行社	旭川市	
24	H1. 5. 19	北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市	
25	H3. 6. 21	北海道美利河 1 遺跡出土品	今金町 (今金町)	
26	H3. 6. 21	北海道湯の里 4 遺跡土墳出土品	知内町 (知内町)	
27	H4. 1. 21	龍雲院	松前町	
28	H4. 1. 21	旧笹浪家住宅（北海道檜山郡上ノ国町） 主屋、土 蔵	上ノ国町	
	H30. 12. 25	米蔵・文庫蔵		
29	H4. 1. 21	正行寺本堂	厚岸町	
30	H5. 4. 20	法源寺山門	松前町	
31	H5. 4. 20	上國寺本堂	上ノ国町	
32	H5. 6. 10	北海道江別太遺跡出土品	江別市 (江別市)	
33	H7. 6. 15	北海道元江別 1 遺跡土墳墓出土品	江別市 (江別市)	
34	H9. 6. 30	北海道コタン温泉遺跡出土品	八雲町 (八雲町)	
35	H12. 6. 27	北海道目梨泊遺跡出土品	枝幸町 (枝幸町)	
36	H13. 6. 15	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館	函館市	
	H16. 12. 10	本館		
37	H13. 11. 14	旧手宮鉄道施設	小樽市	
38	H15. 5. 29	北海道志海苔中世遺構出土銭	函館市 (函館市)	
39	H15. 12. 25	旧本間家住宅	増毛町	
40	H16. 6. 8	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市 (伊達市)	
41	H16. 6. 8	北海道有珠モシリ遺跡出土品 ※国所有	伊達市 (伊達市)	
42	H16. 6. 8	箱館奉行所文書	江別市	
43	H17. 6. 9	北海道美々 8 遺跡出土品	江別市 (江別市)	
44	H17. 6. 9	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市	

45	H17. 6. 9	蝦夷三官寺等澍院関係資料	様似町	
46	H17. 6. 9	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	厚岸町	
47	H18. 6. 9	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市 (恵庭市)	
48	H18. 6. 9	銀板写真（松前勘解由と従者像）エリファレット・ ブラウン・ジュニア撮影一八五四年	松前町	
49	H19. 12. 4	大谷派本願寺函館別院	函館市	
50	H20. 7. 10	北海道上之国勝山館跡出土品	上ノ国町 (上ノ国町)	
51	H23. 6. 27	北海道白滝遺跡群出土品	遠軽町 (遠軽町)	
52	H25. 6. 19	北海道船舶遺跡出土品	礼文町 (礼文町)	
53	H25. 8. 7	旧開拓使工業局庁舎	札幌市	
54	H26. 8. 21	開拓使文書	江別市	
55	H27. 9. 4	北海道松法川北岸遺跡出土品	羅臼町 (羅臼町)	
56	H28. 2. 9	旧網走監獄	網走市	
57	H28. 2. 9	旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）	網走市	
58	H28. 8. 17	北海道豊原4遺跡土坑出土品	函館市 (函館市)	
59	H29. 7. 31	旧双葉幼稚園園舎	帯広市	
60	H30. 10. 31	北海道八千代A遺跡出土品	帯広市 (帯広市)	
61	H30. 12. 25	旧相馬家住宅	函館市	
62	R1. 7. 23	カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文 書）	札幌市	

〔重要有形民俗文化財〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備考
1	S32. 6. 3	アイヌのまるきぶね（河沼用）	札幌市	
2	S34. 5. 6	アイヌの生活用具コレクション	函館市	
3	H7. 12. 26	留萌のニシン漁撈（旧佐賀家漁場）用具	留萌市	
4	H14. 2. 12	北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレク ション	平取町	

〔重要無形民俗文化財〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備考
1	S59. 1. 21	アイヌ古式舞踊	白老町ほか7市町	
	H6. 12. 21	アイヌ古式舞踊（追加指定）	札幌市ほか8市町	

2	H30. 3. 8	松前神楽	函館市ほか 26 市町村	
---	-----------	------	--------------	--

〔特別史跡〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備 考
1	S27. 3. 29	五稜郭跡	函館市	(史跡指定) T11. 10. 12 (追加指定) S4. 4. 2 (特別史跡指定) S27. 3. 29

〔史跡〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備 考
1	T10. 3. 3	手宮洞窟	小樽市	
2	S9. 1. 22	四稜郭	函館市	
3	S9. 5. 1	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡	室蘭市	
	S49. 8. 22	ヲシヤマンベ陣屋跡	長万部町	
		砂原陣屋跡	森町	
4	S9. 8. 9	志苔館跡	函館市	(追加指定) S52. 4. 27
5	S10. 6. 7	松前氏城跡 福山城跡	松前町	(追加指定) H8. 3. 28, H18. 7. 28, H25. 10. 17, H27. 3. 10 (追加指定・名称変更) H14. 9. 20
	H14. 9. 20	館城跡	厚沢部町	
6	S10. 12. 24	モシリヤ砦跡・鶴ヶ岱チャランケ砦跡	釧路市	(統合・追加指定・名称 変更) H27. 3. 17
	H27. 3. 17	釧路川流域チャシ跡群 モシリヤチャシ跡	釧路市	
		ハルトルチャランケチャシ跡	釧路市	
		ウランコウシチャシ跡	弟子屈町	
		クツチャロシペ第1・第2チャシ跡	弟子屈町	
		ブイラクニチャシ跡	弟子屈町	
		シラルトロ第1チャシ跡	標茶町	
		シラルトロ第2チャシ跡	標茶町	
		マタコタンチャシ跡	標茶町	
		テンネル第1チャシ跡	釧路町	
		タブコプチャシ跡	釧路町	
7	S10. 12. 24	春採台地堅穴群	釧路市	
8	S10. 12. 24	桂ヶ岡砦跡	網走市	
9	S11. 12. 16	最寄貝塚	網走市	(一部解除) S16. 11. 20 (追加指定・一部解除) S48. 4. 23
10	S28. 11. 14	フゴッペ洞窟	余市町	
11	S31. 12. 28	音江環状列石	深川市	

12	S36. 3. 10	忍路環状列石	小樽市	
13	S40. 3. 18	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	(追加指定・一部解除)S45. 1. 23 (追加指定)S62. 10. 8
14	S41. 3. 3	白老仙台藩陣屋跡	白老町	(追加指定)S51. 7. 8 (追加指定・一部解除)H7. 11. 8
15	S42. 12. 15	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	
16	S45. 7. 22	東釧路貝塚	釧路市	(追加指定)S51. 2. 24
17	S48. 7. 31	旧下ヨイチ運上家	余市町	
18	S48. 10. 29	国泰寺跡	厚岸町	
19	S49. 3. 12	常呂遺跡	北見市	(追加指定) S62. 8. 21, H2. 4. 27, H14. 9. 20
20	S49. 5. 23	善光寺跡	伊達市	
21	S54. 5. 22	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡	標津町	(追加指定・一部解除)H20. 7. 28
	S51. 6. 21	古道遺跡		
	H1. 10. 20	三本木遺跡		
22	S51. 8. 28	西月ヶ岡遺跡	根室市	
23	S52. 4. 5	大館跡	松前町	
24	S52. 4. 12	上之国館跡 花沢館跡	上ノ国町	(勝山館跡 一部追加指定)S62. 8. 10 (統合・追加指定・名称変更)H18. 3. 31
	H18. 3. 31	洲崎館跡		
	S52. 4. 12	勝山館跡		
25	S52. 7. 14	北斗遺跡	釧路市	
26	S54. 5. 23	ウサクマイ遺跡群	千歳市	
27	S54. 10. 23	キウス周堤墓群	千歳市	(追加指定)R1. 10. 16
28	S56. 8. 29	オタフンベチャシ跡	浦幌町	
29	S56. 11. 21	松前藩主松前家墓所	松前町	
30	S57. 2. 12	旧余市福原漁場	余市町	(追加指定) S59. 8. 29, S62. 12. 25
31	S57. 5. 7	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	
32	S57. 7. 3	茂別館跡	北斗市	
33	S58. 4. 26	根室半島チャシ跡群	根室市	(追加指定)S59. 7. 25
34	S59. 7. 25	旧島松駅通所	北広島市	
35	S62. 1. 8	静川遺跡	苫小牧市	
36	S62. 9. 8	ユクエピラチャシ跡	陸別町	

37	S62. 12. 25	北黄金貝塚	伊達市	(追加指定) H8. 6. 27, H25. 10. 17
38	S63. 5. 13	入江・高砂貝塚	洞爺湖町	(追加指定・名称変更)H14. 3. 19 (追加指定)H14. 12. 19 (追加指定)H23. 9. 21
39	S63. 5. 17	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	
40	H1. 1. 9	白滝遺跡群	遠軽町	(追加指定・名称変更)H9. 9. 2
41	H6. 4. 26	ピリカ遺跡	今金町	
42	H9. 3. 11	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	
43	H9. 12. 2	シベチャリ川流域チャシ跡群及びアップ ツチャシ跡	新ひだか町 日高町	
44	H10. 9. 11	江別古墳群	江別市	
45	H12. 11. 20	大谷地貝塚	余市町	
46	H13. 8. 13	大船遺跡	函館市	
47	H17. 3. 2	カリンバ遺跡	恵庭市	
48	H18. 1. 26	鷲ノ木遺跡	森町	(追加指定)H24. 9. 19
49	H23. 2. 7	垣ノ島遺跡	函館市	
50	H23. 9. 21	旧奥行臼駅通所	別海町	
51	H28. 3. 1	旧歌棄佐藤家漁場	寿都町	
52	H30. 2. 13	様似山道	様似町	
53	H30. 2. 13	猿留山道	えりも町	
54	H31. 2. 26	チャシコツ岬上遺跡	斜里町	

〔名勝〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備考
1	S13. 12. 14	天都山	網走市	
2	H13. 8. 13	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	
3	H21. 7. 23	ピリカノカ 九度山（クトウンヌプリ）	名寄市	
		黄金山（ピンネタイオルシペ）	石狩市	
	H22. 2. 22	神威岬（カムイエトウ）	枝幸町 浜頓別町	
	H22. 8. 5	襟裳岬（オンネエンルム）	えりも町	
	H23. 2. 7	瞰望岩（インカルシ）	遠軽町	
	H23. 2. 7	カムイチャシ	豊浦町	
	H24. 1. 24	絵鞆半島外海岸	室蘭市	
	H24. 9. 19	十勝幌尻岳（ポロシリ）	帯広市 中札内村	

	H25. 10. 17	幌尻岳（ボロシリ）	平取町 新冠町	
	H26. 3. 18	オキクルミのチャシ及びムイノカ	平取町	

〔特別天然記念物〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備 考
1	S27. 3. 29	阿寒湖のマリモ	釧路市	(天然記念物指定)T10. 3. 3
2	S27. 3. 29	野幌原始林	北広島市	(天然記念物指定)T10. 3. 3 (一部解除)S34. 5. 23, S37. 9. 18 (追加指定)R1. 10. 16
3	S27. 3. 29	アポイ岳高山植物群落	様似町	(天然記念物指定)S14. 9. 7
4	S32. 6. 19	昭和新山	壮瞥町	(天然記念物指定)S26. 6. 9 (名称変更)S35. 4. 16
5	S52. 3. 15	大雪山	上川町ほか3町	(天然記念物指定)S46. 4. 23
6	S27. 3. 29	タンチョウ	主な生息地 北海道	(天然記念物指定)S10. 8. 27 (名称変更)S27. 3. 29 (名称・地域変更)S42. 6. 22

〔天然記念物〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備 考
1	T10. 3. 3	後方羊蹄山の高山植物帯	倶知安町ほか4町村	
2	T10. 3. 3	円山原始林	札幌市	
3	T10. 3. 3	藻岩原始林	札幌市	
4	T11. 10. 12	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	江差町	(名称変更・一部解除) S18. 8. 17
5	T11. 10. 12	霧多布泥炭形成植物群落	浜中町	(一部解除)S40. 11. 15 (追加指定)S52. 3. 16
6	T13. 12. 9	登別原始林	登別市	(一部解除)S34. 5. 29 (追加指定・一部解除) S59. 9. 17
7	S3. 2. 7	鶺鴒川ゴヨウマツ自生北限地帯	厚沢部町	(一部解除)S26. 3. 10
8	S3. 3. 24	オオミズナギドリ繁殖地	松前町	
9	S3. 10. 22	歌オブナ自生北限地帯	黒松内町	
10	S12. 12. 21	春採湖ヒブナ生息地	釧路市	
11	S12. 12. 21	北海道犬	—	
12	S13. 8. 8	天売島海鳥繁殖地	羽幌町	(追加指定)S54. 2. 14
13	S14. 9. 7	名寄鈴石	名寄市	
14	S14. 9. 7	名寄高師小僧	名寄市	
15	S14. 9. 7	根室車石	根室市	
16	S15. 2. 10	落石岬のサカイツツジ自生地	根室市	(追加指定)S52. 2. 21

17	S18. 8. 24	幌満ゴヨウマツ自生地	様似町	
18	S26. 6. 9	和琴ミンミンゼミ発生地	弟子屈町	
19	S26. 6. 9	大黒島海鳥繁殖地	厚岸町	
20	S40. 5. 12	ウスバキチョウ	主な生息地 北海道	
21	S40. 5. 12	ダイセツタカネヒカゲ	主な生息地 北海道	
22	S40. 5. 12	アサヒヒョウモン	主な生息地 北海道	
23	S40. 5. 12	クマゲラ	主な生息地 北海道	
24	S40. 5. 12	イヌワシ	主な生息地 北海道	
25	S42. 5. 2	カラフトルリシジミ	主な生息地 北海道	
26	S42. 7. 6	釧路湿原	標茶町ほか2町村	
27	S45. 1. 23	オジロワシ	主な生息地 北海道、新潟県	
28	S45. 1. 23	オオワシ	主な生息地 北海道ほか2県	
29	S45. 12. 4	沙流川源流原始林	日高町	
30	S46. 5. 19	エゾシマフクロウ	主な生息地 北海道	
31	S46. 5. 19	コクガン	主な生息地 北海道ほか2県	
32	S46. 6. 28	ヒシクイ	主な生息地 北海道ほか4県	
33	S46. 6. 28	マガン	主な生息地 北海道ほか4県	
34	S47. 6. 14	女満別湿生植物群落	大空町	
35	S47. 12. 12	松前小島	松前町	
36	S50. 2. 13	ヒメチャマダラセセリ	主な生息地 北海道	
37	S52. 7. 16	エゾミカサリュウ化石	三笠市	
38	S54. 8. 7	標津湿原	標津町	(追加指定) H8. 1. 19, H16. 9. 30
39	S58. 8. 30	焼尻の自然林	羽幌町	
40	H8. 6. 19	夕張岳の高山植物群落および蛇紋 岩メランジュ帯	夕張市、南富良野町	
41	H12. 9. 6	オンネトー湯の滝マンガン酸化物 生成地	足寄町	

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	登録年月日	名 称	所 在 地	備 考
1	H1. 4. 21	函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区	函館市	

〔重要文化的景観〕

No.	登録年月日	名 称	所 在 地	備考
1	H19. 7. 26	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	(追加選定) H28. 3. 1, H30. 10. 15

国指定文化財一覧

<http://www.dokyo-i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3) 道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、保護の対象として北海道教育委員会が指定した文化財です。

〔有形文化財〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地 (出土地)	備考
1	S32. 12. 20	樽岸出土の石器	函館市 (黒松内町)	
2	S33. 4. 10	野幌屯田兵第二中隊本部	江別市	
3	S34. 2. 24	阿弥陀如来立像	恵庭市	
4	S34. 2. 24	釈迦如来立像	伊達市	
5	S34. 2. 24	夷酋列像粉本	函館市	
6	S35. 5. 31	にしん漁場建築	小樽市	
7	S38. 7. 26	旧松前城本丸表御殿玄関	松前町	
8	S38. 7. 26	旧函館博物館 1 号	函館市	
9	S38. 7. 26	旧函館博物館 2 号	函館市	
10	S38. 7. 26	旧金森洋物店	函館市	
11	S38. 12. 24	茅部の鯉供養塔	森町	
12	S39. 10. 3	琴似屯田兵屋	札幌市	
13	S42. 6. 22	アイヌ丸木舟および推進具	苫小牧市	
14	S43. 1. 18	東蝦新道記	広尾町	
15	S43. 1. 18	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	大空町	
16	S43. 1. 18	大樹遺跡出土の遺物	大樹町	
17	S43. 3. 29	漁場建築佐藤家	寿都町	
18	S43. 3. 29	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	岩内町	
19	S43. 3. 29	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	
20	S43. 3. 29	石崎八幡神社の鰐口	函館市	
21	S43. 3. 29	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	函館市	
22	S43. 3. 29	榎法華出土の尖底土器	函館市 (函館市)	
23	S43. 12. 18	和田屯田兵村の被服庫	根室市	

24	S45. 2. 12	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	函館市 (函館市)	
25	S45. 2. 12	刀銘源正雄	函館市	
26	S45. 2. 12	新羅之記録	奥尻町	
27	S46. 3. 5	本願寺駅通	沼田町	
28	S46. 3. 5	徳山大神宮	松前町	
29	S46. 3. 5	住吉町遺跡出土の遺物	函館市 (函館市)	
30	S46. 3. 5	板碑（貞治の碑）	函館市	
31	S46. 3. 5	サイベ沢遺跡出土の遺物	函館市 (函館市)	
32	S46. 3. 5	板碑（戸井町の板碑）	函館市	
33	S47. 2. 17	美唄屯田兵屋	美唄市	
34	S47. 2. 17	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	礼文町 (礼文町)	
35	S49. 2. 28	太田屯田兵屋	厚岸町	
36	S51. 5. 21	天内山遺跡出土の遺物	余市町 (余市町)	
37	S52. 3. 11	円空作観音像	釧路市	
38	S52. 3. 11	円空作観音像	広尾町	
39	S52. 3. 11	円空作十一面観音立像	上ノ国町	
40	S52. 3. 11	円空作聖観音像	伊達市	
41	S52. 9. 12	松前屏風	松前町	
42	S54. 3. 29	亦稚貝塚出土の遺物	利尻町 (利尻町)	
43	S54. 11. 27	旧小納家住宅	羽幌町	
44	S55. 8. 12	札幌市K-446遺跡出土の遺物	札幌市 (札幌市)	
45	S56. 3. 31	南川遺跡出土の遺物	せたな町 (せたな町)	
46	S56. 10. 29	ホロナイボ遺跡出土の遺物	枝幸町 (枝幸町)	
47	S60. 3. 30	砂館神社本殿	上ノ国町	
48	S60. 3. 30	薙刀銘堀井正次	松前町	
49	S60. 3. 30	熊石の山海漁獵供養塔	八雲町	
50	S60. 3. 30	不動明王立像	松前町	
51	S60. 3. 30	旧北海道庁函館支庁庁舎	函館市	
52	S60. 3. 30	旧開拓使函館支庁書籍庫	函館市	

53	S62. 11. 27	旧永山武四郎邸	札幌市	
54	S63. 9. 10	木造阿弥陀如来立像	松前町	
55	S63. 9. 10	木造地藏菩薩立像	八雲町	
56	H3. 3. 30	幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町 (遠軽町)	
57	H4. 3. 31	木造日蓮聖人坐像	松前町	
58	H4. 3. 31	法華寺寛保津波の碑	江差町	
59	H4. 3. 31	正覚院寛保津波の碑	江差町	
60	H4. 3. 31	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町	
61	H4. 3. 31	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町	
62	H6. 2. 9	木造五百羅漢像	小樽市	
63	H6. 6. 3	奥行臼駒通	別海町	
64	H12. 4. 14	滝里遺跡群出土遺物	芦別市 (芦別市)	
65	H13. 3. 30	絵馬カムイノミの図	豊頃町	
66	H13. 3. 30	光明寺寛保津波の碑	松前町	
67	H13. 3. 30	泉龍院寛保津波の碑	松前町	
68	H13. 3. 30	無量寺寛保津波の碑	八雲町	
69	H16. 9. 22	宮歌村文書	福島町	
70	H19. 3. 20	木造十一面観音立像	苫前町	
71	H19. 3. 20	赤彩注口土器	八雲町 (八雲町)	
72	H20. 3. 18	初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市 (根室市)	
73	H22. 3. 16	大乘妙典一千部供養塔	北斗市	
74	H22. 3. 16	知里幸恵ノート	江別市	
75	H24. 3. 19	大麻3遺跡出土の土偶	江別市 (江別市)	
76	H24. 3. 19	二風谷遺跡群出土品	平取町 (平取町)	
77	H25. 3. 29	斜里朱円周堤墓群出土品	斜里町 (斜里町)	
78	H26. 3. 31	入江貝塚出土品	洞爺湖町 (洞爺湖町)	
79	H27. 3. 31	北海道家庭学校礼拝堂	遠軽町	
80	H28. 3. 31	屯田兵絵物語 附 屯田絵巻	旭川市	
81	H28. 3. 31	滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)	滝川市	

82	H28. 3. 31	新琴似村屯田兵村記録	札幌市	
83	H29. 3. 31	上ノ國八幡宮本殿	上ノ国町	
84	H29. 3. 31	矢不來館跡出土品	北斗市 (北斗市)	
85	H29. 3. 31	青苗遺跡出土品	奥尻町 (奥尻町)	
86	H30. 3. 30	厳島神社本殿	増毛町	
87	H30. 3. 30	厳島神社奉納絵馬	増毛町	

〔有形民俗文化財〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備考
1	S38. 12. 24	江差姥神町横山家	江差町	
2	S38. 12. 24	江差町姥神大神宮祭礼山車神功山人形及び附属品	江差町	(名称変更)H28. 3. 11
3	S38. 12. 24	江差町姥神大神宮祭礼山車松寶丸及び附属品	江差町	(名称変更)H28. 3. 11
4	S52. 9. 11	求福山山車の人形その他附属品	松前町	
5	H19. 3. 20	石狩弁天社の鯨様（妙亀・法鯨大明神像）	石狩市	
6	H19. 3. 20	金龍寺の鯨様（龍神・妙亀菩薩・鯨神像）	石狩市	

〔無形民俗文化財〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備考
1	S52. 3. 11	江差沖揚げ音頭	江差町	
2	S52. 3. 11	五勝手鹿子舞	江差町	
3	S52. 3. 11	松前祇園ばやし	松前町	
4	S52. 4. 13	江差追分	江差町	
5	S57. 6. 30	江差三下り	江差町	
6	S57. 6. 30	江差餅つき囃子	江差町	
7	H31. 3. 19	姥神大神宮渡御祭	江差町	

〔史跡〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備考
1	S25. 8. 28	地鎮山環状列石	小樽市	
2	S26. 9. 6	西崎山環状列石	余市町	
3	S26. 9. 6	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	
4	S32. 1. 29	宗谷の護国寺跡	稚内市	
5	S32. 1. 29	斜里朱円周堤墓群	斜里町	
6	S32. 12. 20	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	
7	S38. 12. 24	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	

8	S38. 12. 24	門別富仁家噴墓群	日高町	
9	S39. 10. 3	オムサロ台地堅穴群	紋別市	
10	S41. 7. 7	十勝ホロカヤントー堅穴群	大樹町	
11	S41. 7. 7	浜頓別クッチャロ湖畔堅穴群	浜頓別町	
12	S41. 7. 7	鵲川盛土墳墓群	むかわ町	(追加指定・一部解除) S59. 3. 12
13	S41. 7. 7	厚岸神岩砦跡及び堅穴群	厚岸町	
14	S42. 3. 17	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	(追加指定・一部解除) H10. 3. 24
15	S42. 3. 17	古武井熔鉱炉跡	函館市	
16	S42. 3. 17	女那川煉瓦製造所跡	函館市	
17	S42. 3. 17	恵山貝塚	函館市	
18	S42. 3. 17	シブノツナイ 堅穴住居跡	湧別町	
19	S42. 6. 22	朱円堅穴住居跡群	斜里町	(一部解除)S51. 5. 21
20	S43. 3. 29	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	(追加指定・一部解除) H29. 3. 31
21	S43. 12. 18	興部豊野堅穴住居跡	興部町	
22	S51. 5. 21	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	
23	S51. 5. 21	十勝太遺跡群	浦幌町	
24	H12. 5. 10	野花南周堤墓群	芦別市	
25	H16. 10. 8	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	
26	H20. 3. 18	青苗砂丘遺跡	奥尻町	

〔名勝〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備 考
1	S26. 9. 6	小清水海岸	小清水町	
2	S26. 9. 6	羽衣の滝	東川町	

〔天然記念物〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地	備 考
1	S25. 8. 28	斜里海岸の草原群落	斜里町	
2	S32. 1. 29	中頓別鍾乳洞	中頓別町	
3	S32. 1. 29	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	湧別町	
4	S32. 1. 29	温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市	
5	S34. 9. 11	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	礼文町	
6	S36. 11. 17	当麻鍾乳洞	当麻町	
7	S37. 4. 3	札内川流域化粧柳自生地	帯広市	
8	S38. 7. 26	更別湿原のヤチカンバ	更別村	
9	S38. 10. 18	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	根室市	
10	S38. 12. 24	羅臼のひかりごけ	羅臼町	

11	S38. 12. 24	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	豊頃町	(一部解除) S50. 11. 22
12	S38. 12. 24	大津海岸長節湖畔野生植物群落	豊頃町	
13	S39. 10. 3	雨竜沼高層湿原帯	雨竜町	
14	S39. 10. 3	白滝の流紋岩球顆	遠軽町	
15	S40. 6. 14	二股温泉の石灰華	長万部町	
16	S42. 3. 17	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市	
17	S43. 1. 18	大正のカシワ林	帯広市	
18	S43. 1. 18	茅部の栗林	森町	(一部解除) S53. 8. 25
19	S43. 1. 18	新冠泥火山	新冠町	
20	S43. 3. 19	羅臼の間歇泉	羅臼町	
21	S43. 12. 18	利尻島のチシマザクラ自生地	利尻町	
22	S43. 12. 18	然別湖のオショロコマ生息地	鹿追町町 上士幌町	
23	S46. 4. 21	稚咲内海岸砂丘林	豊富町	
24	S47. 4. 1	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	厚岸町	
25	S47. 4. 1	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町	
26	S48. 3. 14	オシエンコシエン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町	
27	S49. 12. 6	夕張の石炭大露頭	夕張市	
28	S49. 12. 6	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	帯広市	
29	S59. 3. 12	タキカワカイギウ化石標本	滝川市	
30	H6. 6. 3	レブンアツモリソウ群生地	礼文町	
31	H14. 3. 29	黄金水松	芦別市	
32	H23. 3. 15	空知大滝甌穴群	芦別市	
33	H23. 3. 15	西別湿原ヤチカンバ群落地	別海町	
34	H29. 9. 29	ホベツアラキリュウ化石	むかわ町	
35	H30. 10. 30	ヌマタネズミイルカ化石	沼田町	

道指定文化財一覧

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/dounai-shiteibunkazai-kenshuichian.htm>

(4) 管内別市町村指定等文化財一覧

(令和2年5月1日現在)

管内	有形文化財		無 形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天 然 記念物	伝統的 建造物群 保存地区	計	
	建造物			美 術 工芸品	有形						無形
	件数	(棟数)									
空知	17	(16)	37	9	4	11	11	0	9	0	98
石狩	9	(9)	33	2	6	3	5	0	4	0	62
後志	10	(10)	31	2	0	10	26	2	10	0	91
胆振	13	(13)	45	5	11	9	23	1	30	0	137
日高	1	(1)	18	5	0	0	3	1	1	0	29
渡島	2	(2)	119	0	18	15	9	4	8	1	176
檜山	6	(9)	49	5	10	8	4	1	1	0	84
上川	23	(24)	4, 940	6	1	10	16	0	20	0	5, 016
留萌	3	(3)	8	2	3	5	43	0	1	0	65
宗谷	15	(15)	14	1	1	2	14	0	7	0	54
オホーツク	9	(10)	13	0	5	1	7	0	7	0	42
十勝	4	(13)	32	7	5	3	8	3	15	0	77
釧路	4	(4)	13	1	0	3	6	0	14	0	41
根室	12	(16)	19	2	2	1	8	0	22	0	66
合計	128	(145)	5, 371	47	66	81	183	12	149	1	6, 038

市町村指定文化財

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/R02shichousonbunkazai.zip>

・函館市(渡島)が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

(5) 管内別登録文化財

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)若しくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	28	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	4	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	22	1
檜山	1	0
上川	17	0
留萌	0	0
宗谷	3	0

管内	有形文化財	記念物
オホーツク	11	0
十勝	10	0
釧路	1	0
根室	8	0
合計	150	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財（建造物）もしくは記念物（名勝）のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録した文化財です。

〔登録有形文化財(建造物)〕

No.	指定年月日	名 称	所 在 地
1	H9. 5. 7	五島軒本店旧館	函館市
2	H9. 9. 3	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市
3	H10. 7. 23	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町
4	H10. 9. 2	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市
5	H10. 9. 2	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市
6	H11. 7. 8	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市
7	H11. 8. 23	旧国鉄土幌線勇川橋梁	上土幌町
8	H11. 8. 23	旧国鉄土幌線第三音更川橋梁	上土幌町
9	H11. 8. 23	旧国鉄土幌線第五音更川橋梁	上土幌町
10	H11. 8. 23	旧国鉄土幌線十三の沢橋梁	上土幌町
11	H11. 10. 14	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市
12	H11. 10. 14	杉野目家住宅	札幌市
13	H12. 2. 15	旧丹波屋旅館和館	中頓別町
14	H12. 2. 15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町
15	H12. 4. 28	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市
16	H12. 4. 28	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市
17	H12. 4. 28	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市
18	H12. 4. 28	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市
19	H12. 4. 28	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市
20	H12. 4. 28	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市
21	H12. 4. 28	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町
22	H12. 4. 28	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市
23	H12. 4. 28	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市
24	H12. 9. 26	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市
25	H13. 4. 24	函館中華会館	函館市
26	H13. 8. 28	旧西岡水源池取水塔	札幌市
27	H13. 8. 28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市
28	H13. 8. 28	根室市明治公園第一サイロ	根室市
29	H13. 8. 28	根室市明治公園第二サイロ	根室市
30	H13. 8. 28	根室市明治公園第三サイロ	根室市
31	H13. 8. 28	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町
32	H13. 8. 28	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町

33	H13. 8. 28	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町
34	H13. 8. 28	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町
35	H13. 11. 20	上川倉庫事務所	旭川市
36	H13. 11. 20	上川倉庫一号倉庫	旭川市
37	H13. 11. 20	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市
38	H13. 11. 20	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市
39	H13. 11. 20	上川倉庫八号倉庫	旭川市
40	H13. 11. 20	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市
41	H13. 11. 20	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市
42	H13. 11. 20	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市
43	H13. 11. 20	松岡家住宅	旭川市
44	H13. 11. 20	最創山光岸寺本堂	旭川市
45	H14. 2. 14	旧北陸銀行江別支店	江別市
46	H14. 6. 25	遺愛学院講堂	函館市
47	H15. 1. 31	石崎漁港トンネル	上ノ国町
48	H15. 1. 31	旧国鉄土幌線第六音更川橋梁	上土幌町
49	H15. 1. 31	旧国鉄土幌線音更トンネル	上土幌町
50	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町
51	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町
52	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町
53	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町
54	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町
55	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町
56	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町
57	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町
58	H17. 2. 9	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町
59	H17. 7. 12	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市
60	H17. 7. 12	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市
61	H18. 3. 27	J R 小樽駅本屋	小樽市
62	H18. 3. 27	J R 小樽駅プラットホーム	小樽市
63	H18. 3. 27	熊谷家住宅主屋	北斗市
64	H18. 10. 18	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市
65	H18. 10. 18	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市
66	H18. 10. 18	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市
67	H18. 10. 18	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市
68	H18. 10. 18	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市
69	H18. 10. 18	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市

70	H18. 10. 18	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市
71	H18. 10. 18	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町
72	H18. 10. 18	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町
73	H18. 10. 18	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町
74	H18. 10. 18	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町
75	H18. 10. 18	小林酒造一番蔵	栗山町
76	H18. 10. 18	小林酒造二番蔵	栗山町
77	H18. 10. 18	小林酒造三番蔵	栗山町
78	H18. 10. 18	小林酒造四番蔵	栗山町
79	H18. 10. 18	小林酒造五番蔵	栗山町
80	H18. 10. 18	小林酒造六番蔵	栗山町
81	H18. 10. 18	小林酒造製麹室	栗山町
82	H18. 10. 18	小林酒造蒸米場	栗山町
83	H18. 10. 18	小林家住宅主屋	栗山町
84	H18. 11. 29	旧幌向駅通所	南幌町
85	H19. 7. 31	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町
86	H19. 7. 31	順誓寺本堂	津別町
87	H19. 10. 2	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町
88	H20. 3. 7	星槎大学（旧頼城小学校）校舎	芦別市
89	H20. 3. 7	星槎大学（旧頼城小学校）体育館	芦別市
90	H20. 10. 23	旧上藻別駅通所	紋別市
91	H21. 1. 8	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市
92	H21. 8. 7	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町
93	H21. 8. 7	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町
94	H21. 8. 7	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町
95	H21. 8. 7	中標津町郷土館緑ヶ丘分館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町
96	H21. 8. 7	正行寺鐘楼	厚岸町
97	H22. 9. 10	黒田家住宅主屋	札幌市
98	H22. 9. 10	黒田家住宅蔵	札幌市
99	H22. 9. 10	黒田家住宅表門	札幌市
100	H22. 9. 10	黒田家住宅石塀	札幌市
101	H22. 9. 10	旧青山家別邸主屋	小樽市
102	H22. 9. 10	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市
103	H22. 9. 10	旧青山家別邸板塀	小樽市
104	H23. 10. 28	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市
105	H24. 2. 23	高龍寺本堂	函館市
106	H24. 2. 23	高龍寺開山堂	函館市

107	H24. 2. 23	高龍寺山門及び袖塀	函館市
108	H24. 2. 23	高龍寺防火塀	函館市
109	H24. 2. 23	高龍寺金毘羅堂	函館市
110	H24. 2. 23	高龍寺水盤舎	函館市
111	H24. 2. 23	高龍寺鐘楼	函館市
112	H24. 2. 23	高龍寺宝蔵	函館市
113	H24. 2. 23	高龍寺位牌堂	函館市
114	H24. 2. 23	高龍寺土塀	函館市
115	H24. 8. 13	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市
116	H24. 8. 13	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市
117	H24. 8. 13	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市
118	H24. 8. 13	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市
119	H24. 8. 13	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市
120	H24. 8. 13	博物館網走監獄西門哨舎	網走市
121	H24. 8. 13	博物館網走監獄裏門	網走市
122	H24. 8. 13	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市
123	H25. 6. 21	旧岡田家住宅主屋	旭川市
124	H25. 6. 21	旧岡田家住宅蔵	旭川市
125	H25. 6. 21	山崎家住宅主屋	旭川市
126	H25. 6. 21	旧瀬戸家住宅主屋	稚内市
127	H26. 10. 7	遠藤家住宅主屋	札幌市
128	H26. 10. 7	遠藤家住宅蔵	札幌市
129	H26. 10. 7	遠藤家住宅南石蔵	札幌市
130	H26. 10. 7	遠藤家住宅北石蔵	札幌市
131	H26. 10. 7	遠藤家住宅表門	札幌市
132	H26. 10. 7	遠藤家住宅塀	札幌市
133	H26. 12. 19	飯田家住宅座敷棟	日高町
134	H27. 11. 17	旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター一木機乾燥場）	旭川市
135	H27. 11. 17	旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機職場）	旭川市
136	H27. 11. 17	北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）	旭川市
137	H27. 11. 17	飯田家住宅主屋	日高町
138	H28. 11. 29	旧藤澤家住宅主屋	函館市
139	H28. 11. 29	函館YWCA会館	函館市
140	H29. 6. 28	宮本商産旧本社ビル	帯広市
141	H29. 6. 28	旧国鉄士幌線糠平川橋梁	上士幌町

142	H29. 6. 28	旧国鉄士幌線三の沢橋梁	上士幌町
143	H29. 6. 28	旧国鉄士幌線幌加駅プラットホーム	上士幌町
144	H31. 3. 29	旧肥田製陶工場（EBRI）	江別市
145	R1. 9. 10	札幌市旧三菱鉱業寮	札幌市
146	R1. 12. 5	函館公園こどものくに空中観覧車	函館市
147	R1. 12. 5	網走市立郷土博物館本館	網走市
148	R1. 12. 5	網走市立郷土博物館新館	網走市
149	R1. 12. 5	旧大野家住宅主屋（旧大野組事務所兼主屋）	士別市
150	R1. 12. 5	幌泉灯台記念塔	えりも町

〔登録記念物〕

No.	登録年月日	名 称	所在地
1	H18. 1. 26	函館公園	函館市

国登録文化財一覧

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

（７）令和元年北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

No.	市町村等名	事業名または対象の文化財等
1	岩見沢市	岩見沢市郷土科学館 常設展示
2	岩見沢市	〈市指定文化財〉旧國兼家住宅の公開
3	岩見沢市	〈市指定文化財〉大願寺阿弥陀如来立像の公開
4	夕張市	夕張市石炭博物館 常設展示
5	美唄市	〈市指定文化財〉「光珠内いん石」、「友情人形」展示 美唄市郷土史料館 常設展示
6	美唄市	〈道指定文化財〉「美唄屯田兵屋」 〈市指定文化財〉「美唄屯田騎兵隊火薬庫」、「旧桜井家住宅」常設展示
7	美唄市	〈市指定文化財〉「4110 形式十輪連結タンク機関車 2 号」 旧美唄鉄道東明駅舎常設展示
8	芦別市	星の降る里百年記念館常設展示
9	赤平市	赤平市炭鉱遺産ガイド施設 常設展示
10	赤平市	旧住友赤平炭鉱立坑櫓等の内部見学
11	三笠市	三笠市立博物館 常設展示
12	滝川市	〈道指定天然記念物〉「タキカワカイギョウ」展示
13	滝川市	〈市指定文化財〉屯田兵屋の公開
14	滝川市	〈市指定文化財〉牧羊用石造サイロの公開
15	滝川市	〈市指定文化財〉太郎吉蔵（旧五十嵐酒造店倉庫）の公開
16	深川市	深川市郷土資料館 常設展示
17	深川市	〈市指定有形文化財〉屯田兵屋の公開
18	南幌町	〈国登録有形文化財〉旧幌向駅通所展示

19	奈井江町	第 57 回奈井江町総合文化祭 芸能発表会
20	由仁町	ゆめっく館 常設展示
21	新十津川町	〈町指定有形文化財〉絵馬（玉置神社奉祀之景） 展示
22	秩父別町	〈町指定有形文化財〉屯田の鐘 公開
23	秩父別町	〈町指定無形民俗文化財〉ちくし神楽獅子舞の公演
24	雨竜町	〈町指定民俗文化財〉獅子神楽の公演
25	沼田町	文化財見学ツアー
26	沼田町	沼田用化石体験館 常設展示
27	札幌市	〈国指定重要文化財〉旧札幌農学校演武場（時計台）の公開
28	札幌市	第 38 回時計台まつり記念演奏会
29	札幌市	〈国指定重要文化財〉豊平館の公開
30	札幌市	豊平館観覧と晩秋の中島公園探訪
31	札幌市	豊平館に関する建築文化の講座
32	札幌市	〈国指定重要文化財〉八窓庵（旧舎那院忘筌）の公開（外観のみ）
33	札幌市	〈国指定史跡〉琴似屯田兵村兵屋跡の公開
34	札幌市	〈道指定有形文化財〉旧永山武四郎邸の公開
35	札幌市	〈市指定有形文化財〉清華亭の公開
36	札幌市	〈市指定有形文化財〉旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）の公開
37	札幌市	〈市指定有形文化財〉新琴似屯田兵中隊本部の公開
38	札幌市	〈市指定有形文化財及び史跡〉 札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡の公開
39	札幌市	〈市指定史跡〉手稲山口バッタ塚の公開
40	札幌市	〈市指定有形文化財〉札幌市資料館（旧札幌控訴院）の公開
41	札幌市	〈国登録有形文化財〉エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）の公開
42	札幌市	〈国登録有形文化財〉旧西岡水源池取水塔の公開（外観のみ）
43	札幌市	札幌市埋蔵文化財センター展示室 市内出土埋蔵文化財の公開
44	札幌市	丘珠縄文遺跡展示室出土品の公開
45	江別市	江別市郷土資料館 常設展示（国指定重要文化財、道指定有形文化財、市指定有形文化財含む）
46	江別市	〈道指定有形文化財〉「野幌屯田兵第二中隊本部」の公開
47	千歳市	体験学習会「勾玉をつくろう！」
48	千歳市	体験学習会「縄文クッキーをつくろう！」
49	千歳市	公開講座 1「洞爺湖町入江・高砂貝塚について」
50	恵庭市	恵庭市郷土資料館 常設展示
51	北広島市	「中山久蔵没後 100 年展」
52	北広島市	〈国指定史跡〉2019 旧島松駅通所ライトアップ
53	北広島市	〈市指定有形文化財〉北広島市エコミュージアムセンター知新の駅常設展示

54	北広島市	〈国指定史跡〉旧島松駅通所
55	石狩市	〈国指定史跡〉荘内藩ハママシケ陣屋跡
56	石狩市	はまます郷土資料館 常設展示（〈市指定有形文化財〉旧白鳥番屋）
57	石狩市	いしかり砂丘の風資料館 常設展示
58	石狩市	〈市指定文化財〉旧長野商店 公開
59	石狩市	道の駅石狩「あいロード厚田」歴史・自然資料室 常設展示
60	当別町	当別伊達記念館 常設展示
61	小樽市	五百羅漢像（宗圓寺）の公開
62	小樽市	旧手宮鉄道施設（小樽市総合博物館構内）の公開
63	小樽市	手宮洞窟の公開
64	小樽市	にしん漁場建築（旧田中家母屋）の公開
65	小樽市	小樽市総合博物館 トピック展 小樽のヒカリゴケとコケの世界
66	小樽市	トピック展 ギャラリートーク小樽のヒカリゴケとコケの世界
67	小樽市	小樽市総合博物館 企画展 ジオラマの魅力 畑めいの世界
68	小樽市	キノコと秋の自然展
69	寿都町	今に繋がる昔話～明治編その１～
70	寿都町	寿都町文化財展示室 常設展示
71	ニセコ町	文化財保護の啓発
72	真狩村	第71回総合文化祭
73	京極町	京極町生涯学習センター湧学館 常設展示
74	倶知安町	倶知安風土館 常設展示
75	共和町	共和町かかし古里館文化財展示事業
76	岩内町	岩内町郷土館 常設展示
77	仁木町	広報誌への掲載（町内全戸配布）
78	余市町	余市水産博物館 常設展示
79	余市町	〈国指定重要文化財〉旧下ヨイチ運上家の公開
80	余市町	〈国指定史跡〉旧余市福原漁場の公開
81	余市町	〈国指定史跡〉フゴッペ洞窟の公開
82	室蘭市	〈市指定文化財〉輪西屯田兵関係資料、仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾及び友情人形の公開
83	室蘭市	〈市指定文化財〉白鳥大橋海底部等出土の貝化石及び材化石の標本の公開
84	室蘭市	〈市指定文化財〉輪西屯田兵記念碑、旧火薬庫及び関係資料の公開
85	室蘭市	〈国指定文化財〉史跡東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡（同台場・勤番所跡）の公開
86	室蘭市	〈国指定文化財〉名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸の公開
87	室蘭市	〈国登録有形文化財〉室蘭市旧室蘭駅舎の公開
88	苫小牧市	苫小牧市美術博物館 文化の日無料開放日

89	登別市	登別市郷土資料館 常設展示
90	登別市	特別展（仮称）「幌別村役場文書」
91	登別市	のぼりべつ文化交流館カント・レラ 常設展示
92	伊達市	伊達市噴火湾文化研究所 常設展示
93	伊達市	史跡北黄金貝塚情報センター 常設展示
94	伊達市	有珠善光寺宝物館の公開
95	伊達市	だて歴史文化ミュージアム 常設展示
96	伊達市	だて歴史文化ミュージアム 特別展「伊達政宗と伊達成実展」
97	伊達市	だて歴史文化ミュージアム 企画展「野本 醇展」
98	伊達市	だて歴史文化ミュージアム だてまちガイドンスパネル展
99	豊浦町	秋の礼文華山道と豊浦町の文化財を訪ねて
100	洞爺湖町	入江・高砂貝塚館 常設展示
101	洞爺湖町	虻田郷土資料館 常設展示
102	洞爺湖町	洞爺郷土資料館 常設展示
103	壮瞥町	壮瞥町文化祭 〈町指定文化財〉久保内獅子舞保存会・仲洞爺獅子舞保存会
104	白老町	仙台藩白老元陣屋資料館特別展「日本刀の輝き～短刀の魅力～」展
105	白老町	仙台藩白老元陣屋資料館 常設展示
106	厚真町	〈町指定有形文化財〉アイヌの丸木舟ほか公開
107	むかわ町	むかわ町穂別博物館 常設展示
108	日高町	日高町立門別図書館郷土資料館 常設展示
109	平取町	平取町立二風谷アイヌ文化博物館 常設展示
110	平取町	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）一般公開
111	平取町	第25回特別展「1903年夏の平取 -B・ピウスツキたちの短期調査より-」
112	平取町	シシリムカ文化大学講座「ピウスツキのロウ管- アイヌ語音声の再生と活用-」
113	平取町	シシリムカ文化大学講座「1910年日英博覧会における沙流アイヌとピウスツキ」
114	新冠町	〈道指定特別天然記念物〉「新冠泥火山」の公開
115	新冠町	〈国指定文化財〉「名勝ピリカノカ幌尻岳（ポロシリ）」の紹介（案内看板、郷土資料館での展示による）
116	新冠町	〈国指定重要無形民俗文化財〉「アイヌ古式舞踊」をはじめとする新冠のアイヌ文化の紹介
117	新ひだか町	シャクシャイン没後350年記念 第5回新ひだか町博物館特別展「シャクシャインの戦い」※同時開催 文化庁「記念物100年」展
118	新ひだか町	〈道指定有形文化財〉「静内御殿山墳墓群出土の遺物」公開
119	新ひだか町	〈町指定有形文化財〉「静内中野式土器」公開
120	新ひだか町	〈国指定重要無形民俗文化財〉「アイヌ古式舞踊」の映像展示 ※新ひだか町博物館の映像展示

121	新ひだか町	〈町指定無形文化財〉「淡路豊年舳踊り」の映像展示 ※新ひだか町博物館の映像展示
122	新ひだか町	〈町指定無形文化財〉「歌笛越前踊り」の映像展示 ※新ひだか町博物館の映像展示
123	新ひだか町	〈町指定有形文化財〉「エゾオオカミの頭蓋骨」公開
124	新ひだか町	〈国指定史跡〉「シベチャリ川流域チャシ跡群及びアッペツチャシ跡」のうち、シベチャリ川流域チャシ跡群の公開
125	新ひだか町	〈道指定史跡〉「静内御殿山墳墓群」公開
126	新ひだか町	〈町指定名勝〉「蓬萊山」公開
127	新ひだか町	〈町指定史跡〉ショップチャシ跡 公開
128	浦河町	〈町指定文化財〉東栄出土一括土器 公開
129	浦河町	〈町指定文化財〉迎賓馬車 公開
130	様似町	様似山道歩こう会
131	えりも町	猿留山道を歩く会
132	函館市	函館市縄文文化交流センター 常設展示
133	函館市	函館市旧イギリス領事館 常設展示
134	函館市	令和元年度「収蔵資料・アイヌ絵展」
135	函館市	市立函館博物館 本館 臨時開館
136	函館市	市立函館博物館郷土資料館「旧金森洋物店」 常設展示
137	函館市	市立函館博物館 郷土資料館 臨時開館
138	函館市	〈重要文化財〉旧相馬家住宅 主屋 常設展示
139	函館市	縄文体験講座 秋の自然観察会
140	函館市	縄文体験講座秋の縄文染め
141	函館市	江差屏風解説会
142	函館市	郷土史家 近江幸雄氏 講演会
143	函館市	企画コーナー収蔵資料展「辻仁成生誕 60 年によせて」
144	函館市	石川啄木直筆資料展「明治 41 年 8 月～12 月の書簡より」
145	函館市	〈重要文化財〉旧相馬家住宅 土蔵ギャラリー展示 特別展示
146	松前町	歴史講演会「福山城下町遺跡の発掘成果について」
147	松前町	〈町指定有形文化財〉アイヌ民族関係資料 公開
148	松前町	〈町指定有形文化財〉斎藤流松前家資料 公開
149	松前町	〈道指定有形文化財〉〈日本遺産構成文化財〉松前屏風 公開
150	松前町	〈町指定有形文化財〉〈本遺産構成文化財〉松本家資料 公開
151	松前町	ミニ企画展 明治のきらめき～松前のガラス絵～
152	松前町	〈道指定有形文化財〉求福山山車の人形 その他附属品 公開
153	松前町	〈道指定有形文化財〉薙刀 名 堀井正次 公開
154	福島町	福島町吉岡総合センター埋蔵文化財一般公開
155	福島町	福島町チロップ館埋蔵文化財一般公開

156	福島町	〈町指定文化財〉円空仏「（レプリカ）一般公開
157	知内町	知内町郷土資料館 通常展示
158	木古内町	木古内町郷土資料館 常設展示
159	北斗市	北斗市郷土資料館 常設展示
160	北斗市	〈市指定文化財〉鶉山道石版画 展示
161	北斗市	〈市指定文化財〉越前すり鉢 展示
162	北斗市	第9回特別展「北斗市縄文展～土器たちの『かお』と『かお』のない土偶～」
163	北斗市	北斗市郷土資料館まつり
164	七飯町	〈町指定文化財〉迫田家文書 公開
165	七飯町	〈町指定文化財〉飯田甚兵衛の地藏 公開
166	森町	〈町指定文化財〉イカ形土製品 公開
167	八雲町	〈国指定重要文化財〉企画展「コタン温泉遺跡出土品展」
168	長万部町	埋蔵文化財展示コーナー 常設展示及び収蔵展示
169	江差町	〈国指定重要文化財〉「旧中村家住宅」の公開
170	江差町	〈道指定有形文化財〉「旧檜山爾志郡役所」の公開
171	上ノ国町	〈重要文化財〉旧笹浪家住宅公開活用事業
172	上ノ国町	勝山館跡ガイダンス施設公開活用事業
173	上ノ国町	史跡上之国館跡の発掘調査速報展
174	上ノ国町	〈重要文化財〉北海道上之国勝山館跡出土品の展示
175	上ノ国町	上之国館調査整備センター 常設展示
176	厚沢部町	厚沢部町郷土資料館 常設展示
177	乙部町	乙部町公民館郷土資料室 常設展示
178	せたな町	せたな美術館～せたなの絵描きたち～
179	せたな町	〈町指定有形文化財〉明珍家永製作の筋兜 公開
180	せたな町	〈町指定有形文化財〉青い目の人形 公開
181	せたな町	〈町指定有形文化財〉阿波人形浄瑠璃 公開
182	せたな町	〈町指定有形文化財〉荻野吟子の遺品・資料 公開
183	せたな町	〈道指定有形文化財〉南川遺跡出土遺物 公開
184	奥尻町	奥尻島津波館運営事業
185	奥尻町	稲穂ふれあい研修センター歴史民俗資料展示室運営事業
186	奥尻町	青苗遺跡出土品公開事業
187	今金町	〈国指定重要文化財〉史跡ピリカ遺跡出土石器の一般公開
188	今金町	〈町指定重要文化財〉上田式豆まき器の一般公開
189	今金町	〈町指定重要文化財〉ピリカカイギョウ復元骨格模型の一般公開
190	今金町	子ども文化教室「岩石標本づくり」
191	旭川市	〈国指定重要文化財（建造物）〉旧旭川偕行社 公開 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

192	旭川市	〈市指定文化財〉上川郡農作試験所事務所棟（忠別太駅通第一美英舎）公開
193	旭川市	〈市指定文化財〉養蚕民家 公開
194	旭川市	博物館無料開放 アイヌ文化に親しむ日
195	旭川市	〈市指定文化財〉旧神居古潭駅舎 公開
196	士別市	士別市立博物館 常設展示
197	名寄市	書籍の販売による PR
198	名寄市	名寄市北国博物館 常設展示室
199	富良野市	富良野市博物館 常設展示
200	富良野市	リーフレットの配布による PR
201	富良野市	イマイ カツミ・ふらの歴史的建造物ミニ絵画展
202	鷹栖町	鷹栖町郷土資料館 常設展示
203	鷹栖町	鷹栖町郷土資料館 出張展示
204	東神楽町	東神楽町郷土資料展示室 常設展示
205	比布町	比布町郷土資料館 常設展示
206	東川町	〈町指定無形民俗文化財〉町民文化祭 羽衣太鼓の公演
207	東川町	〈町指定有形文化財／美術工芸品〉大雪山アーカイブス常設展示
208	東川町	〈町指定有形文化財／美術工芸品〉織田コレクション常設展示
209	東川町	〈町指定有形文化財／美術工芸品〉藤野千鶴子絵画常設展示
210	東川町	〈町指定有形文化財／建造物〉郷土館常設展示
211	美瑛町	〈町指定文化財〉「高橋北修筆（絵画）」常設展示
212	中富良野町	中富良野町郷土館 常設展示
213	南富良野町	南富良野町町民体育館郷土資料展示コーナー 常設展示
214	南富良野町	南富良野町文化協会文化祭
215	占冠村	占冠村総合文化祭
216	下川町	ふるさと交流館 常設展示
217	下川町	郷土資料展示保存施設 常時展示
218	美深町	文化会館 COM100 郷土資料室 郷土資料の展示
219	美深町	伝承遊学館 郷土資料の展示
220	留萌市	令和元年度るもい文化遺産の再発見事業 郷土学習講座（3回目） 「北海道人造石油に軌跡」
221	増毛町	〈重要文化財〉旧商家丸一本間家 公開
222	小平町	おびらふるさと塾「北前船とは何か」
223	苫前町	〈町指定有形文化財〉須恵器（甕）・修羅 公開
224	苫前町	〈町指定無形民俗文化財〉苫前町くま獅子舞の公演
225	羽幌町	〈町指定無形文化財〉オロロン太鼓の公演
226	天塩町	天塩川歴史資料館 常設展示
227	稚内市	稚内市北方記念館 常設展示

228	浜頓別町	ブタウス遺跡発掘調査 常設展示
229	浜頓別町	「日の出遺跡（浜頓別町クッチャロ湖畔堅穴群）展」
230	枝幸町	地域の埋蔵文化財公開事業
231	枝幸町	特別展「宗谷の漂着物」
232	礼文町	〈重要文化財〉北海道船泊遺跡出土品展示公開事業
233	礼文町	〈道指定有形文化財〉礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像展示公開事業
234	礼文町	〈町指定有形文化財〉上泊3遺跡出土遺物展示公開事業
235	礼文町	〈重要文化財・道指定有形文化財・町指定有形文化財〉町内埋蔵文化財映像公開事業
236	礼文町	〈町指定無形民俗文化財〉四ヶ散米舞行列映像公開事業
237	礼文町	〈町指定有形民俗文化財〉厳島神社絵馬公開事業
238	礼文町	礼文島遺産公開事業
239	礼文町	縄文八十八箇所めぐりスタンプラリー
240	利尻町	〈道・町指定有形文化財〉亦稚貝塚出土物の公開
241	利尻富士町	利尻島郷土資料館常設展示公開事業
242	利尻富士町	古代の利尻展公開事業
243	利尻富士町	利尻富士町文化祭開会式
244	網走市	モヨロ貝塚出土資料の特別展示（市内宿泊施設）
245	網走市	モヨロ貝塚出土資料の特別展示（女満別空港2階出発ロビー）
246	網走市	モヨロ貝塚出土資料の特別展示（網走市役所他）
247	網走市	モヨロ貝塚出土資料の常設展示（モヨロ貝塚館）
248	網走市	モヨロ貝塚出土資料の常設展示（網走市立郷土博物館）
249	北見市	北網圏北見文化センター 博物常設展示
250	北見市	美里洞窟遺跡公開
251	北見市	〈市指定文化財〉武華駅通（留辺蘂町開拓資料館） 公開
252	北見市	端野町歴史民俗資料館 常設展示
253	北見市	ところ遺跡の館 常設展示
254	北見市	ところ埋蔵文化財センター 常設展示
255	北見市	ところ埋蔵文化財センター「記念物100年」展
256	北見市	〈市指定文化財〉ピアソン記念館 公開
257	北見市	〈市指定文化財〉北見ハッカ記念館 公開
258	北見市	薄荷蒸溜館 公開
259	紋別市	〈国登録有形文化財〉旧上藻別駅通所の公開
260	紋別市	〈道指定文化財（史跡オムサロ台地堅穴群）〉オムサロ遺跡公園の公開
261	紋別市	〈市指定文化財〉天然記念物小向原生花園の公開
262	紋別市	〈市指定文化財〉天然記念物紋別流紋岩の公開
263	大空町	元町遺跡公開

264	大空町	〈道指定有形文化財〉女満別石刃鏃遺跡遺物公開
265	美幌町	美幌博物館 常設展示
266	美幌町	企画展「絵を描く心 岸本裕躬作品より」
267	美幌町	美幌博物館講座（美術編）シルクスクリーンのワークショップ
268	津別町	津別町郷土資料室 常設展示
269	斜里町	知床博物館 常設展示
270	斜里町	移動展「オホーツク人のくらし」
271	訓子府町	〈町指定文化財〉増田遺跡・緑丘B遺跡出土遺物展示
272	置戸町	置戸町郷土資料館 常設展示
273	遠軽町	〈重要文化財〉北海道白滝遺跡群出土品の公開
274	遠軽町	〈道指定有形文化財〉幌加川遺跡出土の石器群の公開
275	湧別町	湧別町ふるさと館 JRY 常設展示
276	湧別町	湧別町郷土館 常設展示
277	帯広市	ぶらり帯広・文化財めぐり
278	帯広市	十勝鉄道蒸気機関車・客車公開
279	帯広市	帯広百年記念館 常設展示
280	帯広市	埋蔵文化財センター 常設展示
281	帯広市	〈国指定重要文化財〉八千代A遺跡出土品の公開
282	音更町	郷土資料室 常設展示
283	士幌町	ふるさと資料館 常設展示
284	士幌町	伝統農業保存伝承館 常設展示
285	士幌町	美濃の家 常設展示
286	鹿追町	鹿追町通年公開・常設展示
287	清水町	清水町郷土史料館 常設展示
288	芽室町	芽室町ふるさと歴史館 常設展示
289	中札内村	絵画コレクション展示
290	中札内村	第64回中札内村民文化祭
291	中札内村	からまつ館の公開
292	更別村	更別村総合文化祭（作品展示会）
293	更別村	更別村農村環境改善センター常設展示
294	大樹町	大樹町文化祭
295	大樹町	晩成社史跡公園の公開
296	大樹町	旭浜トーチカの公開
297	大樹町	大樹町郷土資料館の公開
298	大樹町	〈道指定史跡〉十勝ホロカヤントー堅穴群の公開
299	広尾町	広尾町海洋博物館・郷土文化保存伝習館常設展示
300	幕別町	〈町指定有形文化財〉幕別町蝦夷文化考古館収蔵品の公開

301	幕別町	〈町指定有形文化財〉札内 N 遺跡出土品の公開
302	池田町	池田町郷土資料館 常設展示
303	豊頃町	郷土資料情報室「歴史の森」 常設展
304	豊頃町	豊頃町二宮報徳館 常設展
305	本別町	本別町指定文化財パネル展
306	足寄町	足寄動物化石博物館常設展示
307	陸別町	〈国指定史跡〉ユクエピラチャシ跡出土品 常設展示
308	浦幌町	列車と車でめぐる浦幌の史跡・文化財
309	浦幌町	浦幌町指定無形文化財「開拓獅子舞」 展示
310	浦幌町	アイヌ文化伝製品 展示
311	浦幌町	アイヌ遺骨の地域返還 展示
312	釧路市	〈市指定有形文化財〉星兜の公開
313	釧路市	まりも祭りセミナー
314	釧路市	マリモ生育地観察会
315	釧路町	釧路町郷土資料館開設及び郷土資料展
316	釧路町	チャシ跡出土品展示
317	厚岸町	〈町指定有形文化財〉池田家古文書 公開
318	厚岸町	〈町指定有形文化財〉太田屯田兵遺品 公開
319	浜中町	浜中町総合文化センター 郷土資料展示
320	標茶町	北海道集治監釧路分監本館 開館記念フォーラム
321	弟子屈町	アイヌ民族衣装試着体験
322	鶴居村	鶴居村ふるさと情報館 常設展示
323	根室市	〈国指定史跡〉根室半島チャシ跡群の公開
324	根室市	〈国指定史跡〉西月ヶ岡遺跡の公開
325	根室市	〈道指定有形文化財〉和田屯田兵村の被服庫の公開
326	根室市	〈道指定有形文化財〉初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓杭出土遺物の公開
327	根室市	〈市指定有形文化財〉旧根室牧場大金庫の公開
328	根室市	〈市指定有形文化財〉俄羅斯船之圖及びワシレイラフロウ之圖の公開
329	根室市	〈市指定有形文化財〉穂香堅穴群出土の動物意匠付土器の公開
330	別海町	奥行臼散策デー
331	別海町	〈国指定史跡〉旧奥行臼駅通所の公開
332	別海町	〈町指定文化財〉奥行臼駅の公開
333	別海町	〈町指定文化財〉旧別海村営軌道風蓮線奥行臼停留所の公開
334	別海町	〈町指定文化財〉加賀家文書の公開
335	別海町	〈町指定文化財〉野付半島沖マンモスゾウ化石群の公開
336	中標津町	〈国登録有形文化財〉旧北海道農事試験場根室支場陳列館の公開

337	中標津町	〈国登録有形文化財〉旧北海道農事試験場根室支場陳列館の公開・活用 「郷土館緑ヶ丘分館オータムフェスタ」
338	中標津町	〈町指定文化財〉「蛙意匠の土器」の公開
339	標津町	標津町指定文化財御陣屋御造営日記の展示公開
340	羅臼町	〈国指定重要文化財〉北海道松法川北岸遺跡出土品 〈町指定有形文化財〉弘化の釣り鐘
341	北海道博物館	北海道博物館第15回企画テーマ展「エゾシカ」
342	北海道博物館	クローズアップ展示1「古地図・絵図からさぐるアイヌ語地名」
343	北海道博物館	クローズアップ展示1「『蝦夷風俗十二ヶ月屏風』を読む(2)」
344	北海道博物館	クローズアップ展示2「松浦武四郎の地図からさぐるアイヌ語地名」
345	北海道博物館	クローズアップ展示2「新選組の元幹部隊士 永倉新八」
346	北海道博物館	クローズアップ展示3「アイヌ語地名研究者・山田秀三の葉書から」
347	北海道博物館	クローズアップ展示4「アイヌ語地名研究者・山田秀三の、アイヌ文化の記録 や保存への関わり」
348	北海道博物館	クローズアップ展示5「岩手県から北海道へ渡った神楽」
349	北海道博物館	クローズアップ展示6「たくぎん（北海道拓殖銀行）」
350	北海道博物館	クローズアップ展示7「北海道の地名にちなむ植物」
351	道立埋蔵文化財センター	縄文人に挑戦
352	道立北方民族博物館	道立北方民族博物館常設展示
353	道立北方民族博物館	特別展「サミの暮らしと工芸」
354	道立北方民族博物館	はくぶつかんクラブ「フェルトでつくるシロクマのコインケース」
355	道立北方民族博物館	講習会「お細工物 押し絵のおひなさま」
356	道立北方民族博物館	ロビー展「南隆雄 コレクション・サーベイー北海道立北方民族博物館」
357	道立北方民族博物館	解説会「アーティストトーク 南隆雄 コレクション・サーベイ：北海道立北方民族博物館」
358	国立大学法人北海道大学	札幌農学校第2農場の公開
359	国立大学法人北海道大学	旧札幌農学校第2農場ガイド付きショートツアー
360	国立大学法人北海道大学	〈登録有形文化財〉森林記念館（旧標本貯蔵室）の公開
361	国立大学法人北海道大学	和歌山研究林庁舎の見学
362	国立大学法人北海道大学	和歌山研究林の歴史的建造物と照葉樹天然林
363	博物館網走監獄	重要文化財見守り隊イベント
364	(一財)北海道文化財保護協会	文化財啓発「おもしろ絵てがみ展」
365	(一財)北海道文化財保護協会	令和元年度第55回北海道文化財保護功労者表彰式
366	(一般)北海道文化財保護協会	子どもの文化財愛護活動推進事業 北斗市学校出前事業

令和元年度文化財保護強調月間事業

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

（８）令和元年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 41 名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝 文化的景観	天然記念物	伝統的建造物 群保存地区	国指定・選定 文化財計	埋蔵文化財 包蔵地
対象件数	64	55	14	47	1	181	12, 209
実施回数	55	69	18	36	1	179	197

（９）令和元年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

〔国指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	12	0	64	76
北海道教育委員会	6	0	12	18
市町教育委員会	34	0	25	59

〔道指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	1	0	24	25

（10）令和元年度銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲や美術品として価値のある刀剣類について、新規の登録や所有者変更等の事務を行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
74	28	719	113	1	935

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地数一覧

空	岩見沢市	54	後志	ニセコ町	196	渡島	知内町	32	上川	幌加内町	8		雄武町	50
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	62		(上川計)	1,073		(ホ-ツ計)	2,274
	美唄市	6		留寿都村	7		北斗市	108	留萌	留萌市	28	十勝	帯広市	63
	芦別市	93		喜茂別町	13		七飯町	73		増毛町	16		音更町	106
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	40
	三笠市	12		倶知安町	21		森町	52		苫前町	16		上士幌町	75
	滝川市	10		共和町	31	島根	八雲町	100		羽幌町	32		鹿追町	51
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	52		初山別村	7		新得町	31
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	965		遠別町	5		清水町	37
	深川市	79	空知	神恵内村	10		江差町	65		天塩町	43		芽室町	65
	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	90		(留萌計)	166		中札内村	5
	奈井江町	22		古平町	11	檜山	厚沢部町	54	宗谷	稚内市	140	勝	更別村	16
	上砂川町	0		仁木町	25		乙部町	111		猿払村	18		大樹町	34
	由仁町	37		余市町	65		せたな町	70		浜頓別町	22		広尾町	21
	長沼町	64		赤井川村	67		奥尻町	32		中頓別町	8		幕別町	132
	栗山町	37		(後志計)	809		今金町	59		枝幸町	72		池田町	58
	月形町	8		室蘭市	37	上川	(檜山計)	481		豊富町	16		豊頃町	52
	浦臼町	48	空知	苫小牧市	291		旭川市	216		礼文町	55		本別町	99
	新十津川	15		登別市	33		士別市	47		利尻町	11		足寄町	114
	妹背牛町	4		伊達市	90		名寄市	150		利尻富士町	20		陸別町	55
	秩父別町	8		豊浦町	20		富良野市	141		幌延町	20		浦幌町	58
	雨竜町	5		洞爺湖町	15		鷹栖町	28		(宗谷計)	382		(十勝計)	1,112
	北竜町	10		壮瞥町	1	上川	東神楽町	25	オホshima	網走市	168	釧路	釧路市	137
	沼田町	6		白老町	46		当麻町	18		北見市	480		釧路町	76
	(空知計)	566	石狩	安平町	82		比布町	22		紋別市	68		厚岸町	90
	札幌市	541		厚真町	144		愛別町	23		大空町	65		浜中町	121
	江別市	142		むかわ町	111		上川町	23		美幌町	136		標茶町	208
	千歳市	299		(胆振計)	870		東川町	23		津別町	64		弟子屈町	50
	恵庭市	132		日高町	132		美瑛町	43		斜里町	379		鶴居村	73
	北広島市	62		平取町	127		上富良野町	37		清里町	35		白糠町	31
	石狩市	220		新冠町	43		中富良野町	35		小清水町	42		(釧路計)	786
	当別町	18		新ひだか町	153	川	南富良野町	25		訓子府町	267	根室	根室市	308
	新篠津村	2	後志	浦河町	58		占冠村	11		置戸町	106		別海町	88
	(石狩計)	1,416		様似町	29		和寒町	36		佐呂間町	38		中標津町	67
後志	小樽市	102		えりも町	67		剣淵町	30	ク	遠軽町	221		標津町	191
	島牧村	24		(日高計)	609		下川町	70		湧別町	56		羅臼町	84
	寿都町	43		函館市	325		美深町	42		滝上町	46		(根室計)	738
	黒松内町	51		松前町	122		音威子府村	10		興部町	39		計 12,247	
	蘭越町	48		福島町	33		中川町	10		西興部村	14		(前年比 23 箇所増)	

・令和2年3月31日現在

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」を御覧ください。

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 令和元年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積(ha)
埋蔵文化財保護のための事前協議	609	
令和元年度北海道実施の所在調査	98	16,596.665
令和元年度北海道実施の試掘調査	43	118.623

(3) 令和元年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積(ha)	件数	面積(ha)
空知	8	333.242	4	15.909
石狩	5	13.247	6	26.036
後志	16	87.986	5	8.354
胆振	10	164.207	5	17.334
日高	5	6.156	2	2.483
渡島	8	62.450	6	8.117
檜山	1	10.590	0	0

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積(ha)	件数	面積(ha)
上川	7	396.397	4	5.644
留萌	1	1.456	2	6.954
宗谷	2	509.400	2	5.394
オホーツク	10	475.505	1	3.740
十勝	22	13877.323	6	18.703
釧路	3	658.706	0	0
根室	0	0	0	0

(4) 令和元年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	面積(m ²)
空知	1	1,000
石狩	7	9,472.7
後志	3	1,838
胆振	9	2,672
日高	1	38
渡島	10	15,333
檜山	2	400

管内	件数	面積(m ²)
上川	0	0
留萌	0	0
宗谷	9	110
オホーツク	9	357
十勝	0	0
釧路	0	0
根室	3	53.5
合計	54	31,274.2

・令和元年度の発掘調査の概要は

<http://www.dokyo-i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/Rlgaiyou.htm>

(5) 令和元年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳(指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第93条	3	1	20	14	4	42
法第94条	0	6	39	24	1	70

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(6) 令和元年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	1	0	0	0	1
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(7) 令和元年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道教育委員会	45	0	45	677
政令市・中核市	3	15	18	819

(8) 令和元年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	16	111	4,869

※ 箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

3 その他

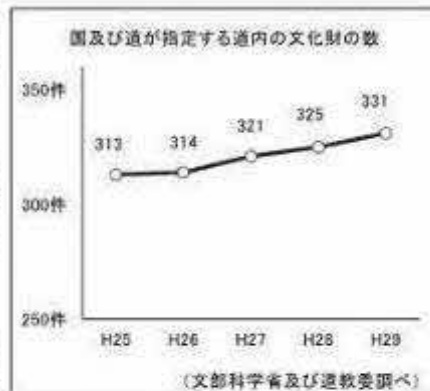
(1) 北海道教育推進計画（平成 30 年 3 月 28 日決定）

目標 6 学びを活かす地域社会の実現

施策項目 30 文化財の保存及び活用の推進

■ 現状と課題

- 道民の共有財産である文化財[※]について、指定の推進や適切な維持管理に努めるとともに、情報発信や文化財に親しむ機会を提供するなど、活用の取組を継続してきたところです。
しかし、文化財の活用については、必ずしも十分とは言えず、各地域において、文化財の活用方策や取組体制、人材確保・育成等の様々な課題が見られます。
- 世界文化遺産[※]登録へ向けた取組を推進し、特にユネスコへの推薦準備が整っている「北海道・東北の縄文遺跡群」については、国、北海道環境生活部及び関係自治体と協力して早期の登録実現を目指しており、登録後は適切な保存・活用が必要です。
- 国においては、地域に点在する文化遺産を「面」として活用し、国内外に発信する日本遺産の認定を進めており、平成29年に道内から初めて、江差町や函館市・松前町のストーリーが日本遺産に認定されたことで、道内各地で認定を目指す動きが活発化する中、今後も各地域の認定に向けた取組への支援が求められています。
- アイヌの伝統・文化は、本道の歴史を語る上で欠くことのできないものであり、その独自性・多様性からも極めて貴重な文化財であるため、後世に伝えていく取組の継続が必要です。



■ 施策の方向性

- 未指定文化財の調査や文化財の指定・登録等を推進するとともに、指定文化財[※]の適切な維持管理等に努めます。また、文化財に関する情報の発信や文化財に親しむ機会の提供等により、文化財の活用に取り組みます。
- アイヌ民俗文化財[※]の保存・伝承の取組について着実に推進します。

指 標	基準年度 (H29)	目標年度 (H34)
国及び北海道が指定する文化財の数	331 件	341 件
北海道文化財保護強頭月間（10月8日～11月7日）に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	56.6%	70%

■ 施策の展開

○ 文化財[※]の調査・保存・活用の推進

- ・ 有形・無形の貴重な文化財を次の世代に確実に引き継いでいくため、未指定文化財の調査、文化財の指定・登録等の推進、文化財の現状把握及び適切な管理・維持修繕・整備を図ります。

○ アイヌ民俗文化財[※]の調査・保存・伝承活動の推進

- ・ アイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、民俗技術に関する調査やユーカラ[※]の翻訳・整理に取り組むとともに、アイヌの基本的な生活用語、伝統的な風俗慣習及び民俗芸能の保存・伝承活動を推進します。

○ 世界遺産[※]の登録と保存活用の推進

- ・ 国、北海道環境生活部及び関係自治体と連携して、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指し、登録後は適切な保存・活用に取り組みます。
- ・ 世界文化遺産[※]としての価値をもつ可能性が高い「北海道東部の窪みで残る竪穴住居跡群」の総合調査を実施し、海外の類似資産との比較研究等を進め、その価値の発信に取り組みます。

○ 文化財に関する情報の発信と文化財に親しむ機会の提供

- ・ 文化財に対する興味・関心を高めその価値を正しく理解できるよう、Web ページ[※]等を活用して、文化財に関する情報を発信します。
- ・ 学校教育や社会教育の場における文化財を活用した学習機会の充実や、関係機関との連携により文化財の公開等を促進するなど、文化財に親しむことのできる機会の充実に取り組みます。

○ 日本遺産の認定と活用支援

- ・ 地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーとして発信する日本遺産の更なる認定を目指し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形や無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援します。



国指定重要文化財「北海道庁旧本庁舎」



国指定重要無形民俗文化財「松前神楽」



こども考古学教室「火おこし体験」

(2) 令和元年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。

この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は15名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

・申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ

直通電話：(011)204-5749 FAX：(011)232-1076

令和元年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	審 議 内 容
令和元年 8月27日(火)	13:30 ～16:34	北海道第2水産 ビル4階4G会 議室	・北海道文化財保存活用大綱について ・道指定文化財の指定に向けた取組について
令和元年 12月4日(火)	9:30 ～12:00	北海道第2水産 ビル4階4S会 議室	・北海道における文化財保存活用大綱につい て
令和2年 2月10日(月)	13:30 ～15:20	北海道第2水産 ビル4階4S会 議室	・名勝指定に向けた取組について ・北海道における文化財保存活用大綱につい て

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧（令和2年3月31日現在）

[任期：平成30年7月1日～令和2年6月30日]

氏 名	所 属 等
乾 淑 子	京都造形芸術大学講師
大 原 雅	北海道大学大学院環境科学院長
大 原 昌 宏	北海道大学総合博物館教授
児 島 恭 子	札幌学院大学教授
小 杉 康	北海道大学大学院教授
澤 村 寛	足寄動物化石博物館館長
白 木 彩 子	東京農業大学生物産業学部准教授
鈴 木 幸 人	北海道大学大学院准教授
角 美弥子	北海道教育大学岩見沢校准教授
瀬 川 拓 郎	札幌大学教授
中 村 和 之	函館工業高等専門学校特任教授
羽 深 久 夫	札幌市立大学教授

森 雅 人	札幌大谷大学教授
佐 藤 肇	北海道開発局開発監理部長
石 橋 岳 志	北海道森林管理局計画保全部長

- ・北海道文化財保護審議会について

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 令和元年度銃砲刀剣類登録審査会

令和元年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり4回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
令和元年6月24日(月)	10:00～15:00	道庁別館地下1階大会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目)
令和元年8月23日(金)	10:00～15:00	北海道上川合同庁舎302号会議室 (旭川市永山6条19丁目)
令和元年11月21日(木)	10:00～15:00	道庁別館地下1階大会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目)
令和2年2月14日(金)	10:00～15:00	道庁別館地下1階大会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員

[任期：平成30年6月1日～令和2年5月31日]

銃砲刀剣類登録審査委員	審 査 会 場
梶 睦	札幌(6月、11月、2月)
川 合 喜與文	札幌(11月、2月)
堀 井 重 克	旭川(8月)、札幌(2月)
石 井 利 明	札幌(6月、11月)
野 波 明 利	札幌(6月)、旭川(8月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	920	1476	1314	1042	1121	1050	745	760	591	789	459	0	10267

② 資料等の閲覧・貸出等件数

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	7	7	7	3	7	7	7	7	4	9	9	79

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 30 年度発掘調査報告会	平成 31 年 4 月 13 日	58 人
	春季講演会	令和元年 5 月 25 日	75 人
	秋季講演会	令和元年 11 月 24 日	92 人
考古学 講座	考古学を知る・学ぶ 2	令和元年 7 月 20 日	80 人
	考古学を知る・学ぶ 3	令和元年 9 月 7 日	109 人
	考古学を知る・学ぶ 4	令和元年 10 月 26 日	23 人
	考古学を知る・学ぶ 5	令和 2 年 1 月 25 日	142 人
	考古学を知る・学ぶ 7	令和元年 3 月 14 日	中止
体験型 講座	親子ガラス玉づくり教室	令和元年 6 月 1 日	8 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 1 次	令和元年 8 月 3 日	26 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 2 次	令和元年 8 月 10 日	29 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 3 次	令和 2 年 1 月 11 日	19 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 4 次	令和 2 年 1 月 18 日	20 人
研修会	令和元年度市町村埋蔵文化財担当職員出前研修会	令和元年 9 月 12 日	12 人
	令和元年度埋蔵文化財担当職員研修会Ⅱ	令和元年 12 月 13 日	48 人

④ 令和元年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 30 年度発掘調査成果展	平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 5 月 26 日
2	「北の縄文ーもうひとつの古代 世界 オホーツク文化」展	令和元年 7 月 6 日～9 月 29 日
3	北海道遺跡百選 12 「(公財)北 海道埋蔵文化財センター四十年の調 査成果 赤い土器・緑の玉・土器つ くりの謎」展	令和元年 12 月 7 日～2 年 2 月 23 日
4	世界遺産をめざす北の縄文展	通 年

⑤ 令和元年度考古学教室出前講座一覧

[事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
留寿都村	留寿都村公民館	令和元年 6 月 15 日	18 名
様似町	様似町放課後児童施設「ひまわり」	令和元年 7 月 30 日	29 名
岩内町	岩内地方文化センター	令和元年 8 月 6 日	37 名
根室市	根室市総合文化会館	令和元年 8 月 17 日	16 名
比布町	比布福祉会館	令和元年 10 月 28 日	32 名

池田町	池田町郷土資料館	令和元年 11 月 9 日	7 名
利尻町	利尻町交流促進施設どんと	令和元年 11 月 9 日	21 名

(7) 令和元年度北海道東部の堅穴住居跡群調査懇談会

北海道教育委員会では、北海道東部に所在する堅穴群について基礎的な情報や現状の把握を目的に「北海道東部の堅穴住居跡群調査」を計画し、平成 27 年度から 29 年度まで第 1 次調査を実施しました。そして、この調査成果をふまえて、平成 30 年度から 4 カ年計画で第 2 次調査を引き続き実施しています。

また、堅穴群調査の適切な実施や堅穴群の保存活用の推進を目的として、平成 28 年度からは、有識者や堅穴群調査の関係者が意見交換を行う「北海道東部の堅穴住居跡群調査懇談会」を開催しています。

有識者は、堅穴群の研究・調査経験を有する識者 3 名程度で構成され、懇談会の都度、文化財・博物館課長が会議への出席を依頼します。

懇談会の会議の傍聴については、事前に電話で申し込むか、当日、懇談会の開催予定時刻までに受付で氏名、住所を記入し、座長の許可を受けると傍聴することができます（先着順、10 名以内）。

申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財調査グループ
直通電話：(011)204-5750 FAX：(011)232-1076

令和元年度は、次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	意見交換の内容
令和元年 11 月 21 日(木)	9:00 ～ 14:00	釧路市立博物館 講堂	・北海道東部の堅穴住居跡群調査、釧路管内の 堅穴群について
令和 2 年 3 月 18 日(水) (中止※)	9:00 ～ 12:00	北海道庁別館 8 階会議室	・オホーツク海周辺の古代集落について ・令和元年度重要遺跡確認調査の成果について ・北海道東部の堅穴住居跡群調査第 2 次調査計 画（総合調査）について

※道内における新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催を中止

(8) 北海道東部の堅穴住居跡群調査懇談会有識者一覧

① 第 1 回北海道東部の堅穴住居跡群調査懇談会

氏 名	所 属 等
熊 木 俊 朗	東京大学大学院人文社会系研究科教授
石 川 朗	釧路市埋蔵文化財調査センター埋蔵文化財主幹
熊 崎 農夫博	厚岸町海事記念館専門員

② 第2回北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会（中止※）

氏 名	所 属 等
右 代 啓 視	北海道博物館研究部長
熊 木 俊 朗	東京大学大学院人文社会系研究科教授
高 瀬 克 範	北海道大学大学院文学研究科准教授
瀬 川 拓 郎	札幌大学教授
天 野 哲 也	北海道大学総合博物館研究員
澤 井 玄	北海学園大学非常勤講師

※道内における新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催を中止

- ・北海道東部の竪穴住居跡群調査 第2次調査について

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/chousa-dainiji.htm>

（9）文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成16年～ (年4回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。 URL ： http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を見ることができる主な博物館・資料館	平成20年 1月30日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。 URL ： http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成20年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年5回程度刊行しています。 URL ： http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成30年度北海道文化財年報	令和元年 7月22日	平成30年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。 URL ： http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazai-nenpo.htm
令和元年度文化財保護強調月間	令和元年 9月19日	北海道文化財強調月間（10月8日～11月7日）期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。 URL ： http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm
市町村における発掘調査の概要（令和元年度版）	令和元年 3月18日～	令和元年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。 URL ： http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/R1gaiyou.htm

北海道・北東北の縄文遺跡群 世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
	URL : https://jomon-japan.jp/	
北海道の竪穴群	平成 28 年 10 月 11 日～ (随時更新)	「北海道東部の竪穴住居跡群調査」・「北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会」の内容や竪穴群に関する説明資料・海外の文献等を公開しています。
	URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/portal.htm	

(10) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部文化局文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/publics/index/1
4	一般財団法人北海道文化財保護協会	http://hokkaido-bunkazai.jp/